

宗像市

令和7年度

# 市民協働に関する 意識調査【報告書】



令和8年3月



# この調査について

## 調査の概要について①

任意回答用

### 宗像市 まちづくりへの参画に関する市民アンケート

日頃から宗像市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
宗像市は、20年前に「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」を制定し、市民の皆様とともにまちづくりを進める「協働のまちづくり」の実現に向け、他市町村に先駆けて取り組みを進めてきました。  
今回、より多くの方がまちづくりに参加・参画していくためのきっかけづくりを考えていくため、市民の皆様地域の活動状況や市政への関心等をお聞きするアンケート調査を行います。  
宗像市が、これまで以上に豊かな活力あるまちとなるよう、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年6月  
宗像市長 伊豆 美沙子

### アンケートの回答にご協力をお願いします

※必ず宛名のご本人の意見で回答してください(代筆は可)。ご本人が回答できない場合は、破棄してください。  
※ご自身の意見をありのままお答えください。回答は集計・分析され、個人が特定されることはありません。  
※所要時間は約10分です。下のいずれかの方法で回答をお願いします。



#### 方法1: インターネットで回答

スマートフォン等から左の二次元バーコードを読み取るか、パソコンで下記のURLから回答してください。  
<https://logoform.jp/f/vhYJd>  
※本アンケート用紙の提出は不要です。

こちらがオススメ!

必要な質問のみ表示されるので回答しやすい!

#### 方法2: 手書き回答→郵送

本アンケート用紙(両面3枚)の質問に回答を記入し、市コミュニティ協働推進課に持参または郵送してください。

回答期限 令和7年8月31日(日) 1. インターネット 23:59まで  
2. 郵送: 当日消印有効

お問い合わせ 宗像市 コミュニティ協働推進課 Tel: 0940-36-5394

※当てはまる選択肢に○をしてください。( )内は数字や具体例等を記入してください。

※「←」等「^」等の表記がある場合には、指定の問いに移って回答してください。

#### 【1】あなた自身について

問1 年齢を教えてください。 \_\_\_\_\_ 問2 性別を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

( ) 歳 (回答日時点)

男 ・ 女 ・ その他

問3 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

1 吉武 2 赤間 3 赤間西 4 自由ヶ丘 5 河東 6 南郷

7 東郷 8 日の里 9 玄海 10 池野 11 岬 12 大島

13 わからない (住所(番地不要)を記入: )

### 調査の目的

本市では、これまで市民による主体的な地域活動、市民活動が続けられており、行政としても市民協働によるまちづくりを施策の柱としてきた。  
今後、総合計画等に描く「誰もが生き活きとまちづくりに参画する」「すべての世代が参加、参画する」まちを実現していくため、関係者だけでなく、様々な市民の意識や現状を踏まえ、より多くの市民がまちづくりに関わるよう施策を展開したい。

本調査は、中学生以上の全市民を対象として、市民参画条例に定める「市民参画」「協働」「コミュニティ活動」を念頭に、それぞれの認知、意識、行動をアンケート形式で調査した。回答をもとに、年代等の属性に応じた傾向の調査研究を行い、今後の施策の推進に活かすことを目的とする。

### 調査期間

令和7年7月11日～8月31日

### 調査方法

#### ①郵送調査

- 調査対象 満13歳から75歳の市民2,000人を対象に郵送(令和7年6月30日時点の住民基本台帳から無作為抽出)
- 回答方法 インターネット(Logoフォーム)または紙による回答

#### ②任意調査

- 周知方法 市HP、LINE、公共施設等でのチラシ掲出  
市民活動・NPOボランティアセンターのSNS
- 回答方法 インターネット(Logoフォーム)による回答

### 回答数

827人 ①郵送調査625人(回収率31.3%)  
②任意回答202人

# この調査について

## 調査の概要について②

任意回答用

### 宗像市 まちづくりへの参画に関する市民アンケート

日頃から宗像市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
宗像市は、20年前に「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」を制定し、市民の皆様とともにまちづくりを進める「協働のまちづくり」の実現に向け、他市町村に先駆けて取り組みを進めてきました。  
今回、より多くの方がまちづくりに参加・参画していくためのきっかけづくりを考えていくため、市民の皆様の地域での活動状況や市政への関心等をお聞きするアンケート調査を行います。  
宗像市が、これまで以上に豊かなで活力あるまちとなるよう、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年6月  
宗像市長 伊豆 美沙子

### アンケートの回答にご協力をお願いします

※必ず宛名のご本人の意見で回答してください(代筆は可)。ご本人が回答できない場合は、破棄してください。  
※ご自身の意見をありのままお答えください。回答は集計・分析され、個人が特定されることはありません。  
※所要時間は約10分です。下のいずれかの方法で回答をお願いします。



#### 方法1：インターネットで回答

スマートフォン等から左の二次元バーコードを読み取るか、パソコンで下記のURLから回答してください。  
<https://logoform.jp/f/vhYJd>  
※本アンケート用紙の提出は不要です。

こちらがオススメ！  
必要な質問のみ表示されるので回答しやすい！

#### 方法2：手書き回答→郵送

本アンケート用紙(両面3枚)の質問に回答を記入し、市コミュニティ協働推進課に持参または郵送してください。

回答期限 令和7年8月31日(日) 1. インターネット 23:59まで  
2. 郵送・当日消印有効

お問い合わせ 宗像市 コミュニティ協働推進課 Tel: 0940-36-5394

※当てはまる選択肢に○をしてください。( )内は数字や具体例等を記入してください。

※「-問 ^」等の表記がある場合には、指定の問いに移って回答してください。

#### 【1】あなた自身について

問1 年齢を教えてください。 \_\_\_\_\_ 問2 性別を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

( )歳(回答日時点) 男・女・その他

問3 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 吉武 2 赤間 3 赤間西 4 自由ヶ丘 5 河東 6 南郷  
7 東郷 8 日の里 9 玄海 10 池野 11 岬 12 大島  
13 わからない(住所(番地不要)を記入: \_\_\_\_\_)

### 質問項目 (詳細巻末P43-44参照)

【1】(問1~7) あなた自身について  
年齢、性別、地区、職業、居住状況等、回答者個人の属性に関する質問

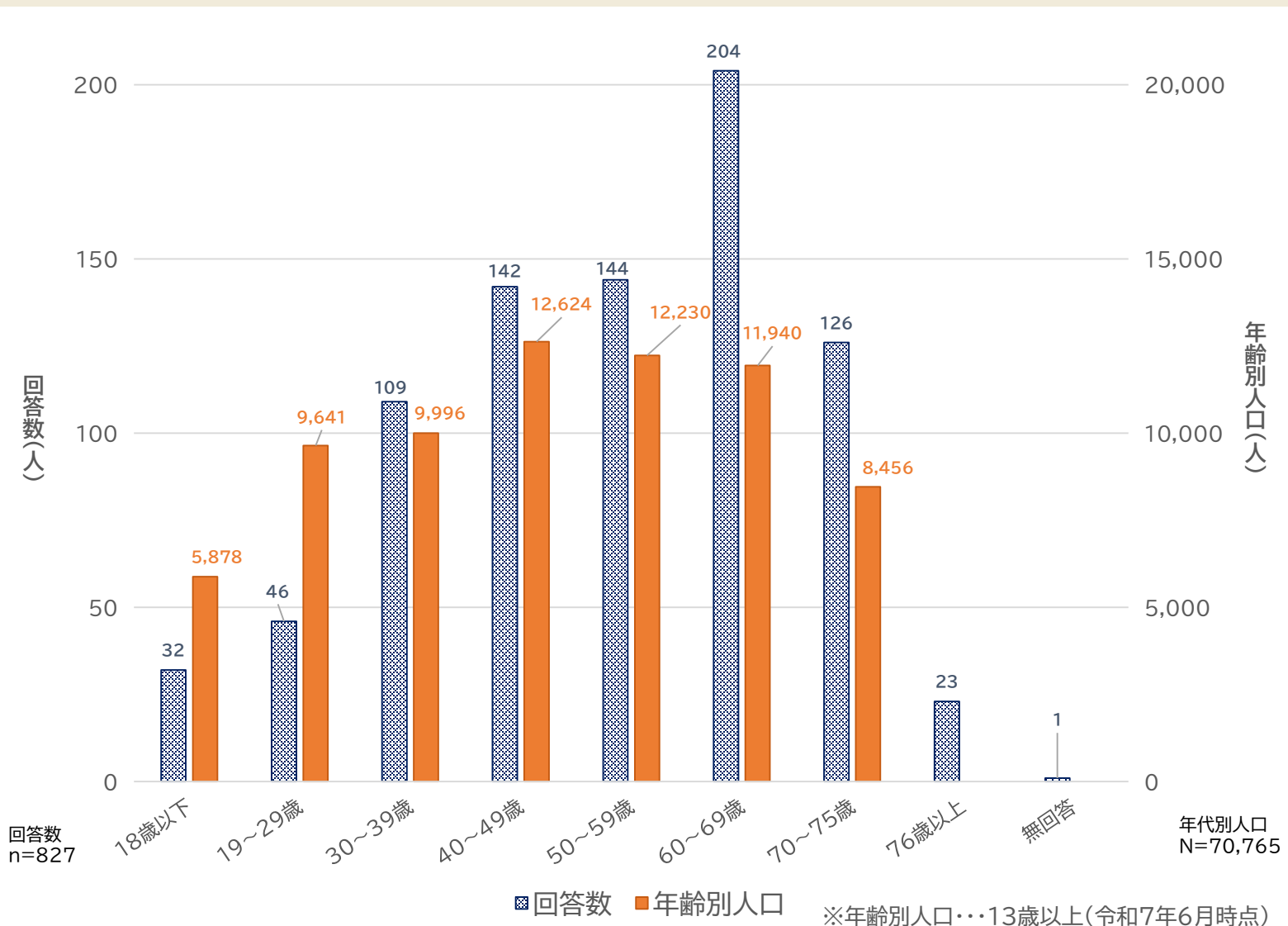
【2】(問8~20) 地域コミュニティとの関わりについて  
近所付き合いから、自治会(町内会、区会)やコミュニティ運営協議会を中心とした地域活動への参加状況、接点等に関する質問

【3】(問21~25) 市民活動・ボランティア活動について  
市民活動等への参加状況や期待、結果等に関する質問  
なお、本調査では、市民活動等を「地域や社会をよりよくするため、一人ひとりが自分の意思で取り組む活動」「身の回りの困りごとや課題を自分たちの力でなんとかしようとする行動したり、金銭を目的とせず、自分のできることを誰かのために役立てようとする行動したりすること」と定義し、【2】の地域活動は除くとした。

【4】(問26~29) 市政への参加について  
市が行う政策に対する「市民参画」を念頭に、市に関する情報収集から、条例に定める市民参画手続への参加状況、関心のある分野等に関する質問  
なお、本調査では、市民参画を「市が行う政策や取り組みについて、市民が考えたり、話し合ったり、意見を表明したりしながら、市と市民が協働で方向性を決めていくこと」と定義した。  
また、問29では、市や地域に対するシビックプライドに関する質問を行った。

# 【1】あなた自身について

## 問1 年齢を教えてください



今回調査では、地域活動、市民活動等の担い手となりうる世代として、満13歳の中学生から75歳までの市民を郵送調査の対象とした。(任意回答では年齢の上限は設けていない)

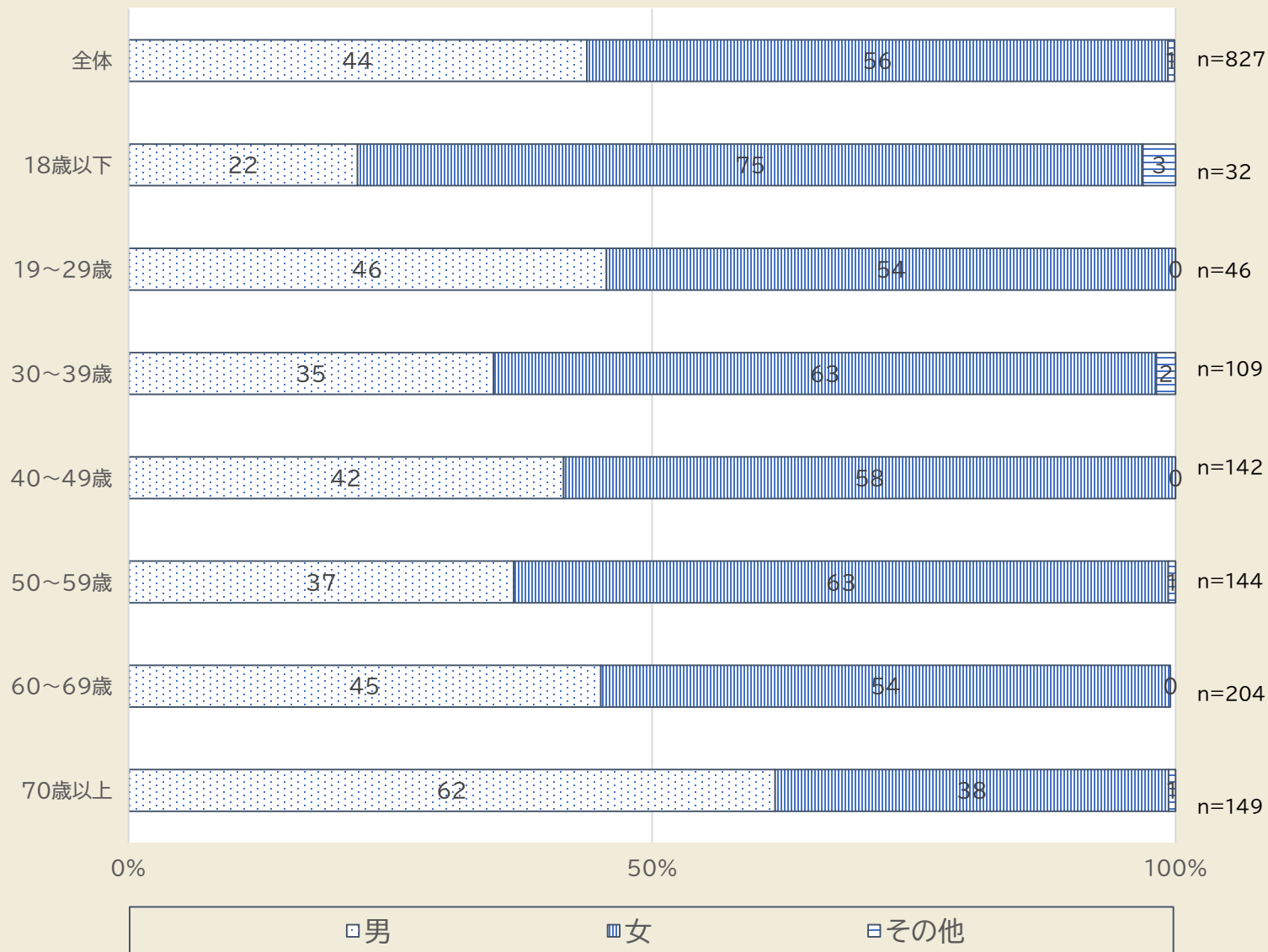
回答は年齢の実数を求めているが、18歳以下、19~29歳と、概ね10年単位でまとめて表記する。回答数(■、左軸)と抽出対象の人口(■、右軸)を合わせたグラフを作成。■のほうが高い年代は、対象人口の1%以上が回答している。

- ・18歳以下の中・高校生世代が32人、19~29歳の大学生・新社会人等が46人で、それぞれ回答率0.5%程度。
- ・地域コミュニティでは「若者」と呼ばれる30~49歳の子育て世代が合わせて251人で、いずれも回答率1%以上。
- ・60~69歳は、人口比1.7%と他の年代と比較してかなり高い。

※以降の質問については、基本的に年代別の回答状況をグラフで示している。

# 【1】あなた自身について

## 問2 性別を教えてください



各質問項目で、性別による差の有無を確認するため、回答者の性別を「男」「女」「その他」で質問した。

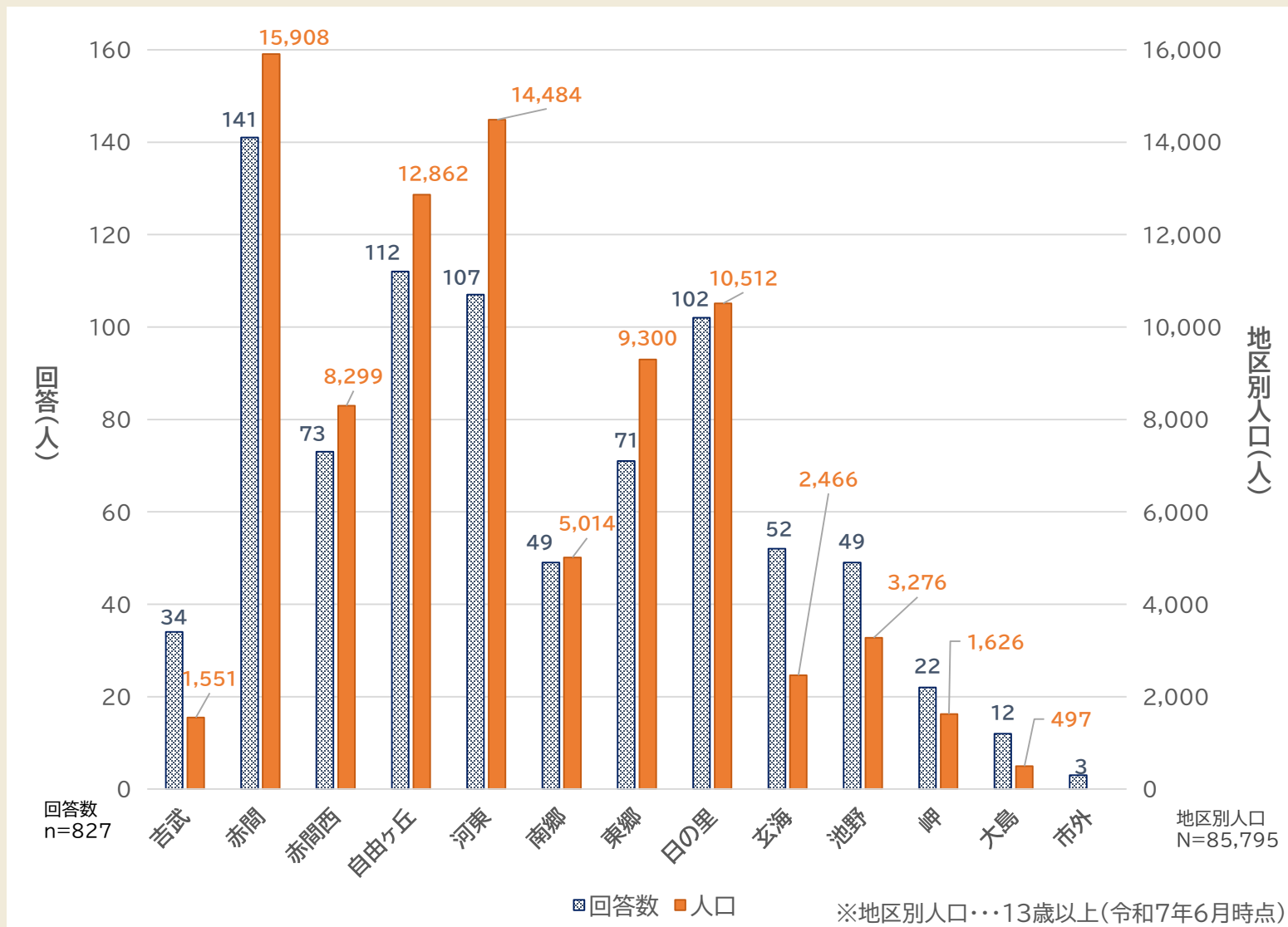
- ・全体のうち、女性が56%で半数を超えた。
- ・18歳以下では、女性が75%で、他年代よりも女性の回答割合が高い。
- ・50歳以上では、年代があがるごとに男性の回答割合が増加
- ・70歳以上の高齢者層では、62%が男性で若年層と回答割合が逆転する。

年代によって、回答状況に一定の性別による差が見られている。

※以降の質問は、年代別に加え、性別の回答割合を%でグラフ表示する。

# 【1】あなた自身について

## 問3 お住まいの地区を教えてください



回答者の居住地について、宗像市地区設置規則で定める12のコミュニティ運営協議会の範囲で回答を求めた。

各地区の回答数(■、左軸)と13歳以上の人口(■、右軸)を合わせたグラフを作成した。

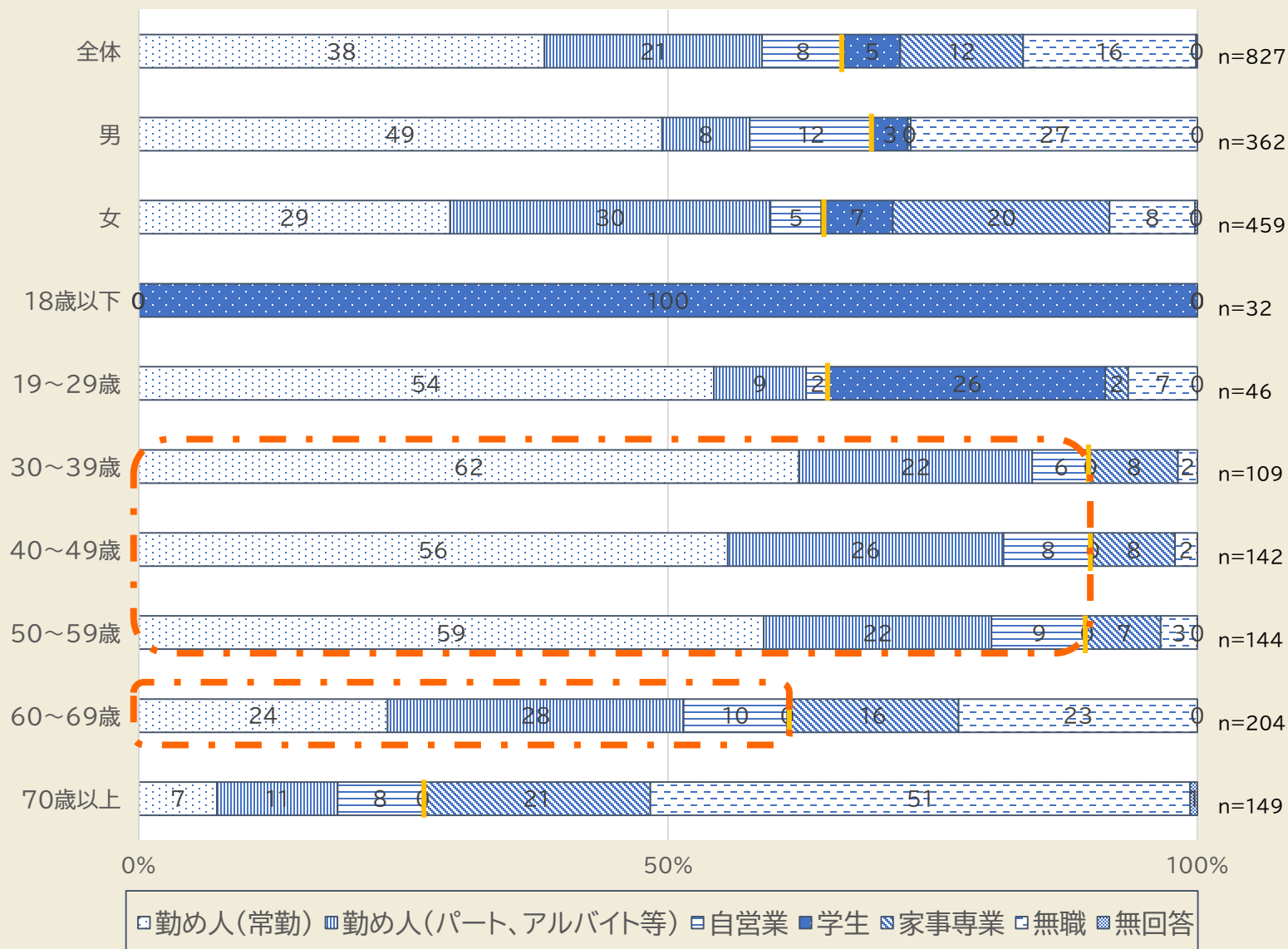
■のほうが高い地区は、人口の1%以上の回答が得られている。

- ・人口1万人以上の地区では、いずれも人口比で1%程度の回答率。
- ・人口3千人未満の地区は、人口比で1%以上の回答率ではあるが、回答数が50人未満で少数。

地区別の回答数、率のばらつきが大きいことから、各地区の詳細な分析は本レポートでは行わず、質問ごとに必要に応じて比較分析するほか、別途「地域カルテ」等で報告する。

# 【1】あなた自身について

## 問4 主な職業を教えてください。(〇は1つ)



回答者の就労状況を確認するため、職業について質問した。

「勤め人」「自営業」を就労層、「学生」「家事専業」「無職」を非就労層として集計すると、

- ・全体で67%、女性も64%が就労している。
- ・30~59歳の就労率は、いずれも90%。
- ・60~69歳で62%、70歳以上で26%が就労しており、働く高齢者も多い。

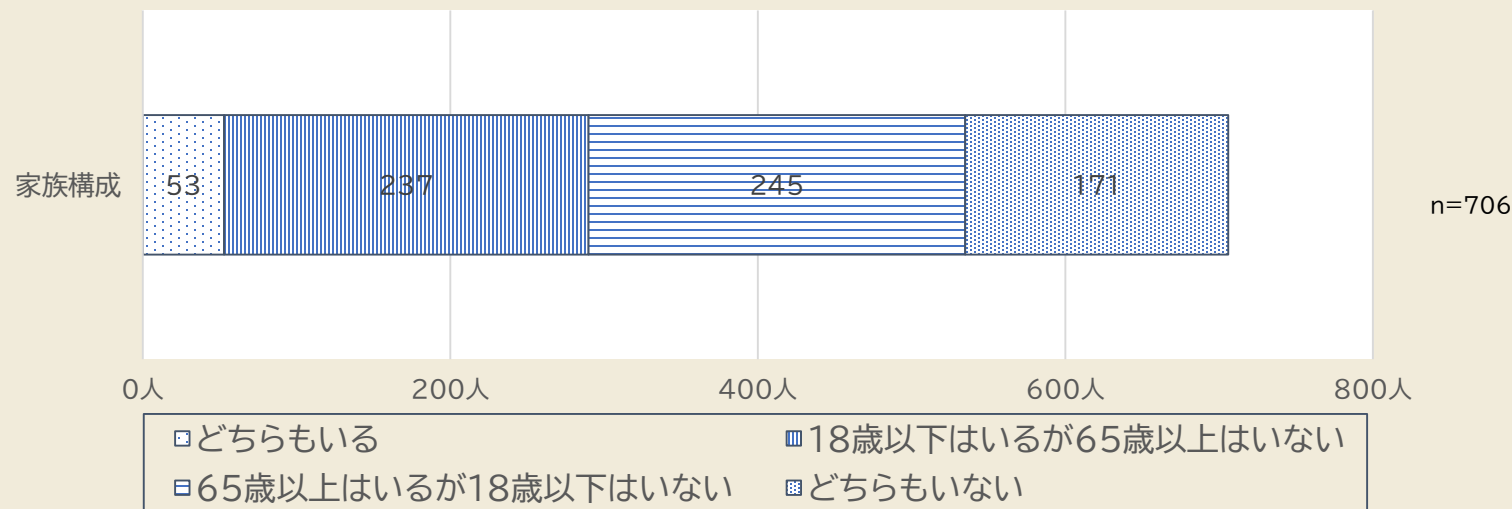
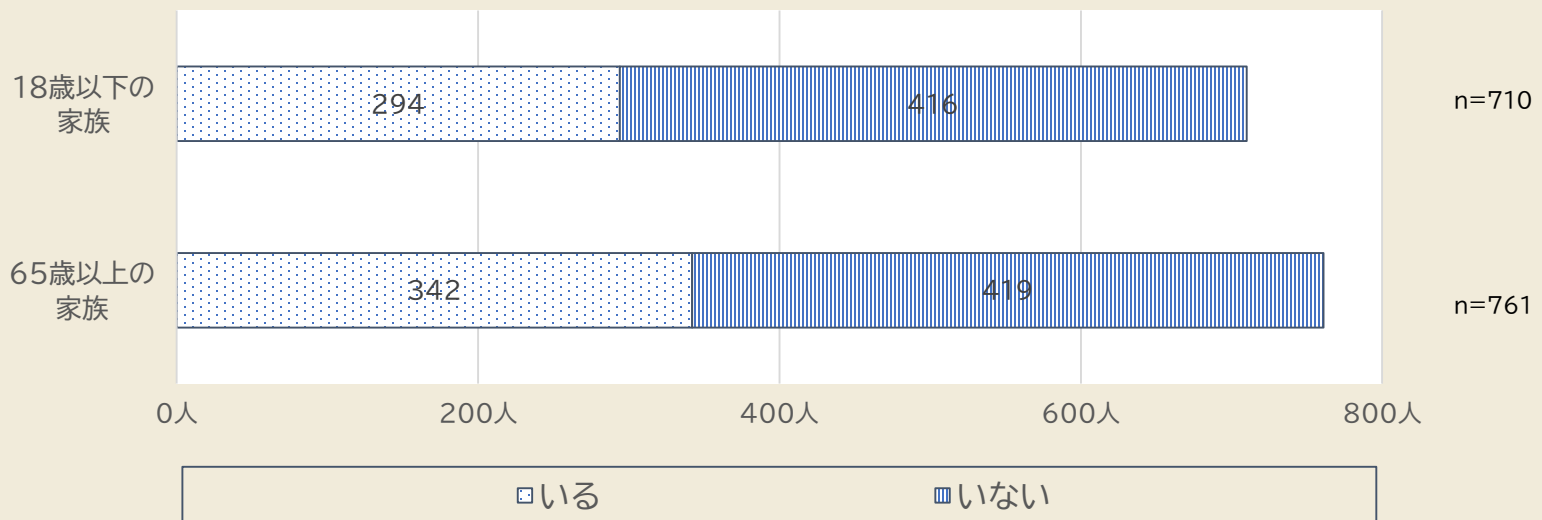
女性のみで分析すると、

- ・30~59歳の就労層が84~87%
- ・60~69歳でも53%と過半数が就労している。

これまで地域活動を支えてきた非就労の前期高齢者、専業主婦のような人材はかなり少ないことがわかる。

# 【1】あなた自身について

## 問5 家族構成を教えてください。【18歳以下及び65歳以上の家族の有無】



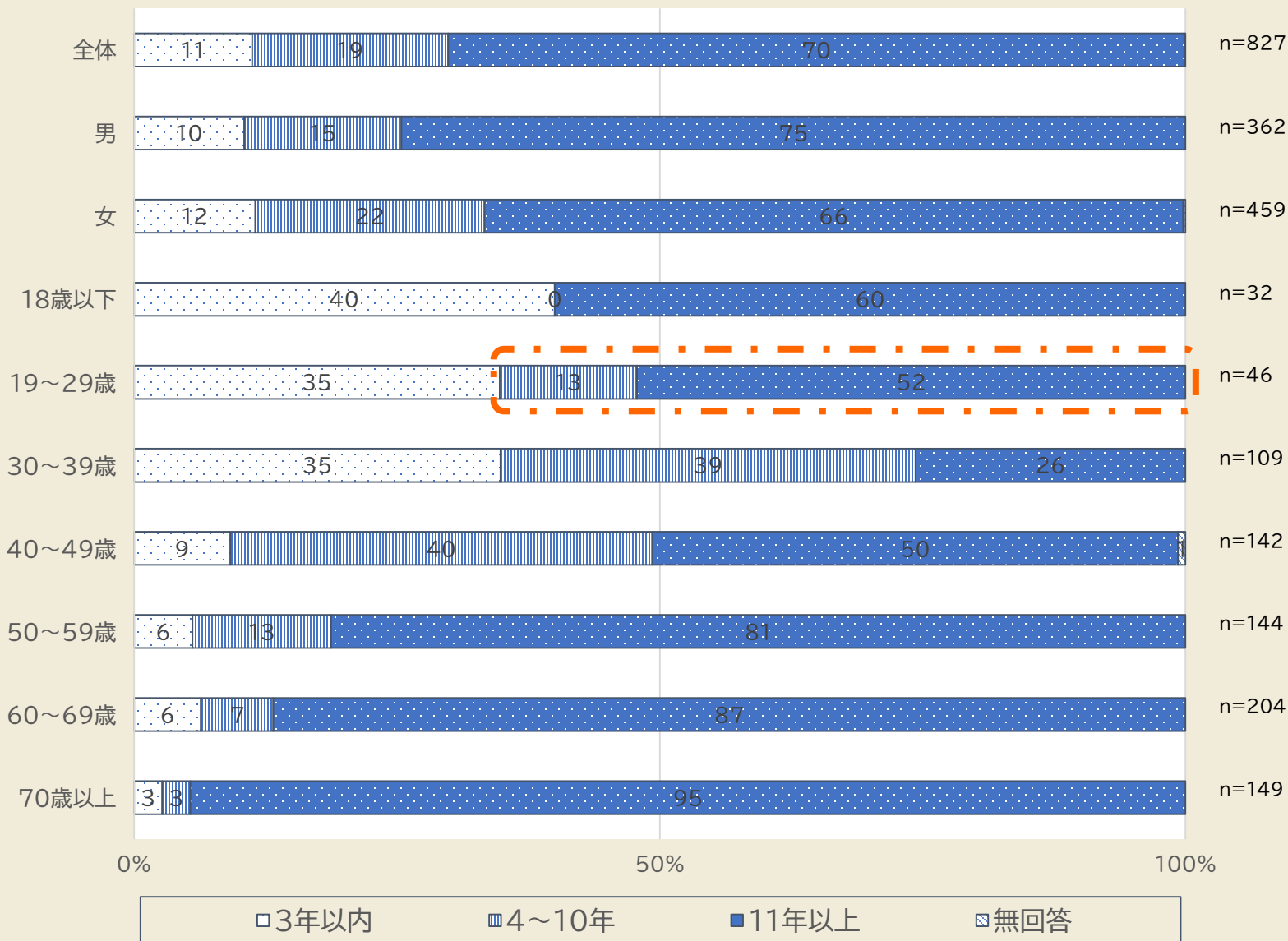
家族構成を確認するため、世帯の中に18歳以下の子どもがいるか、または65歳以上の高齢者がいるか確認を行った。

質問項目に対して、無回答の件数が多かったため、回答数をグラフ化した。

- ・子どもを含む家族構成の回答者が294人
- ・高齢者を含む家族構成の回答者が342人
- ・子どもと高齢者が同居しているいわゆる三世帯同居が53人となっている。

# 【1】あなた自身について

## 問6 現在のお住まいに住み始めて何年ですか。(〇は1つ)

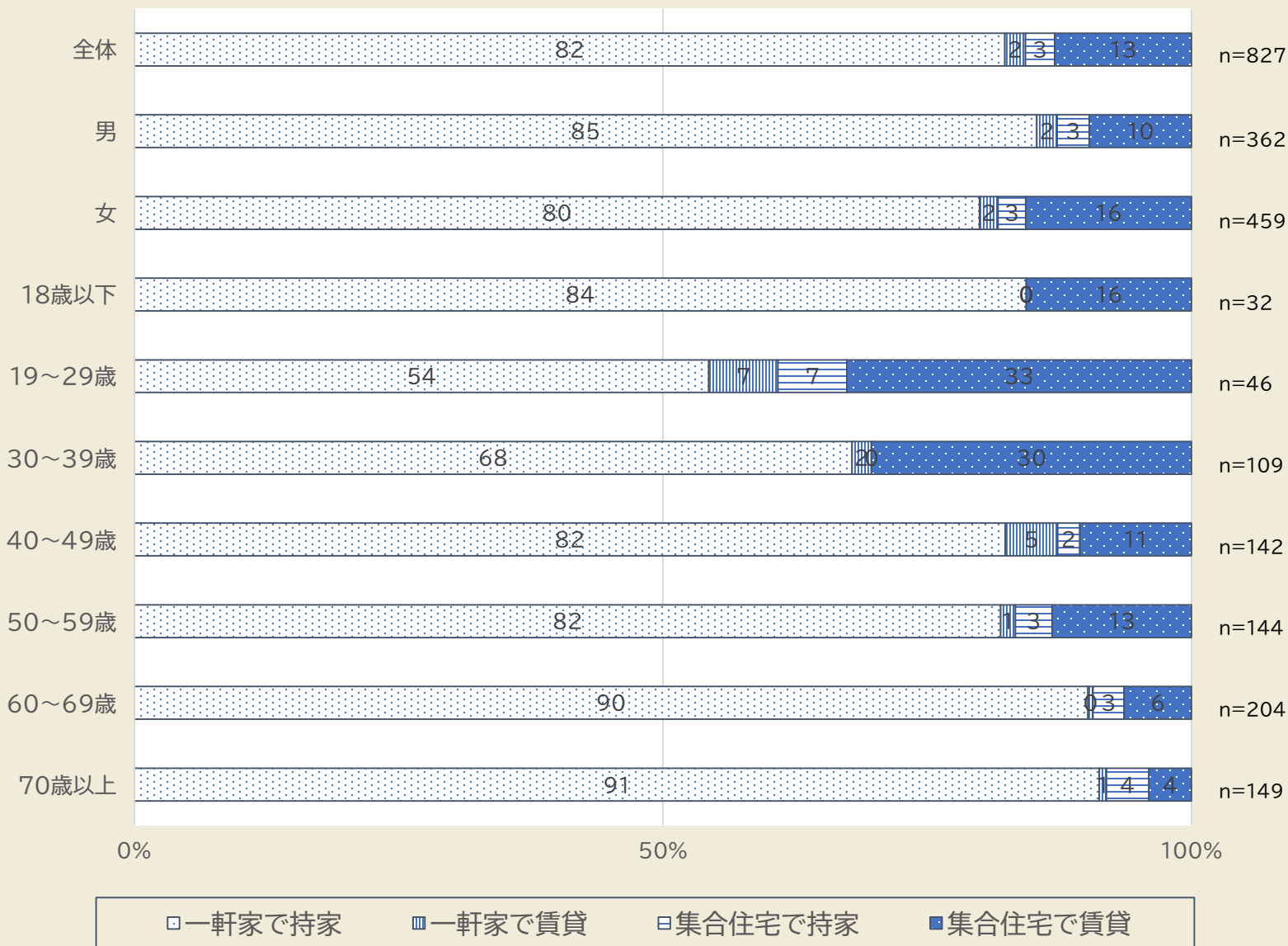


現在の住居に住み始めてからの年数を質問した。

- 全体では、70%が「11年以上」居住しており、住み続けている人の割合が高い。
- 19~29歳で、「11年以上」居住は52%で、高校・大学卒業後の市外流出は全体の半分以下となっている。
- 就職や結婚等のライフステージの変化が大きい20~39歳では、長期に居住する割合は大きく下がるものの、40歳以降では、住み続ける人の割合が高くなっていく。

# 【1】あなた自身について

問7 現在のお住まいは、次のどれにあたりますか？(○は1つ)

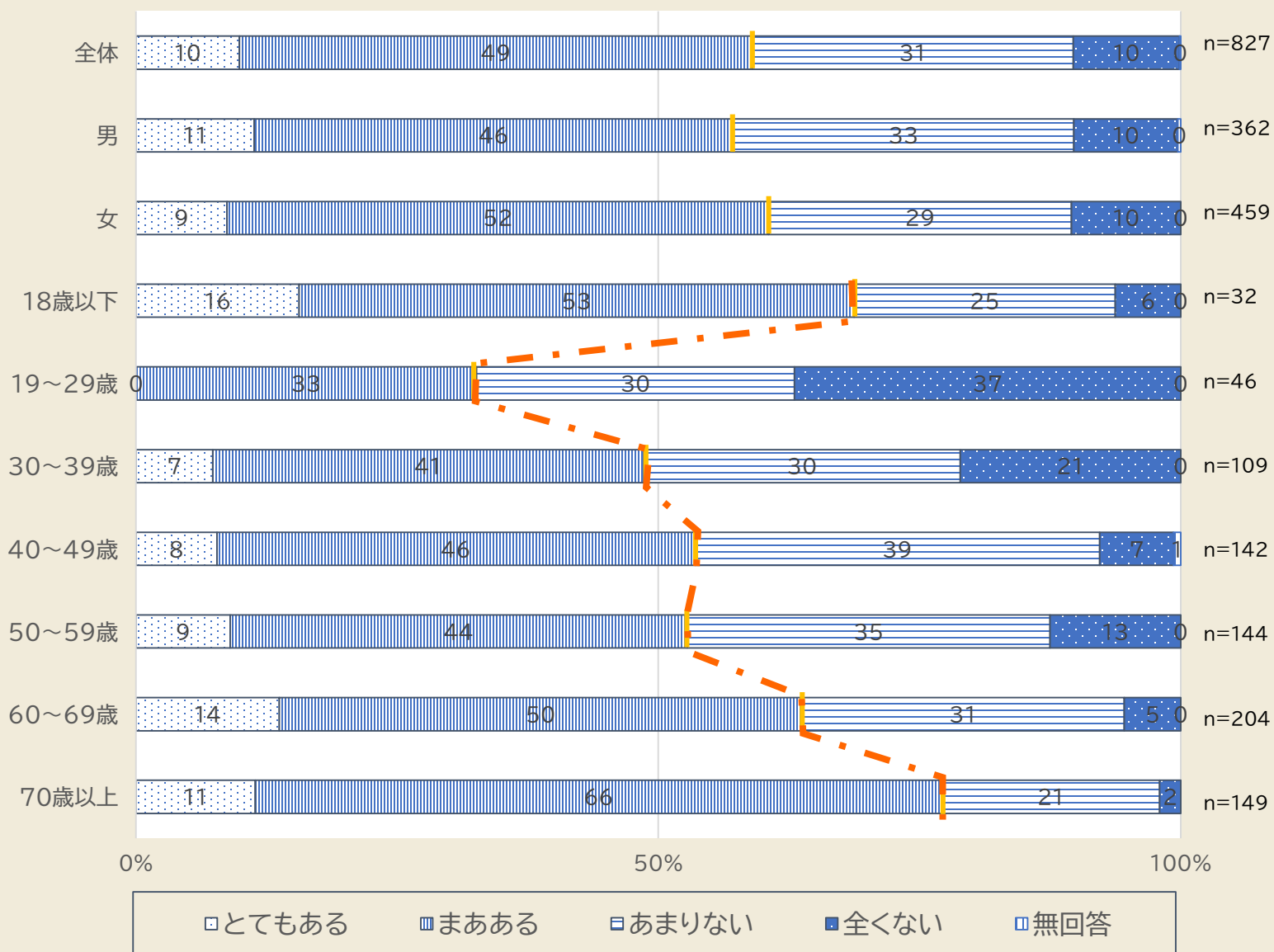


特に地域コミュニティに対する関わり、活動状況との関連性があると考え、住居の形態や保有状況を確認した。

- ・全体では、85%が一軒家または集合住宅の持家
- ・20~39歳では、3割が集合賃貸住宅
- ・持家は、19~29歳で最も低く、年代を追うごとに回答割合が高くなっていく。

## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

### 問8 ご近所付き合いは、どの程度ありますか？(〇は1つ)

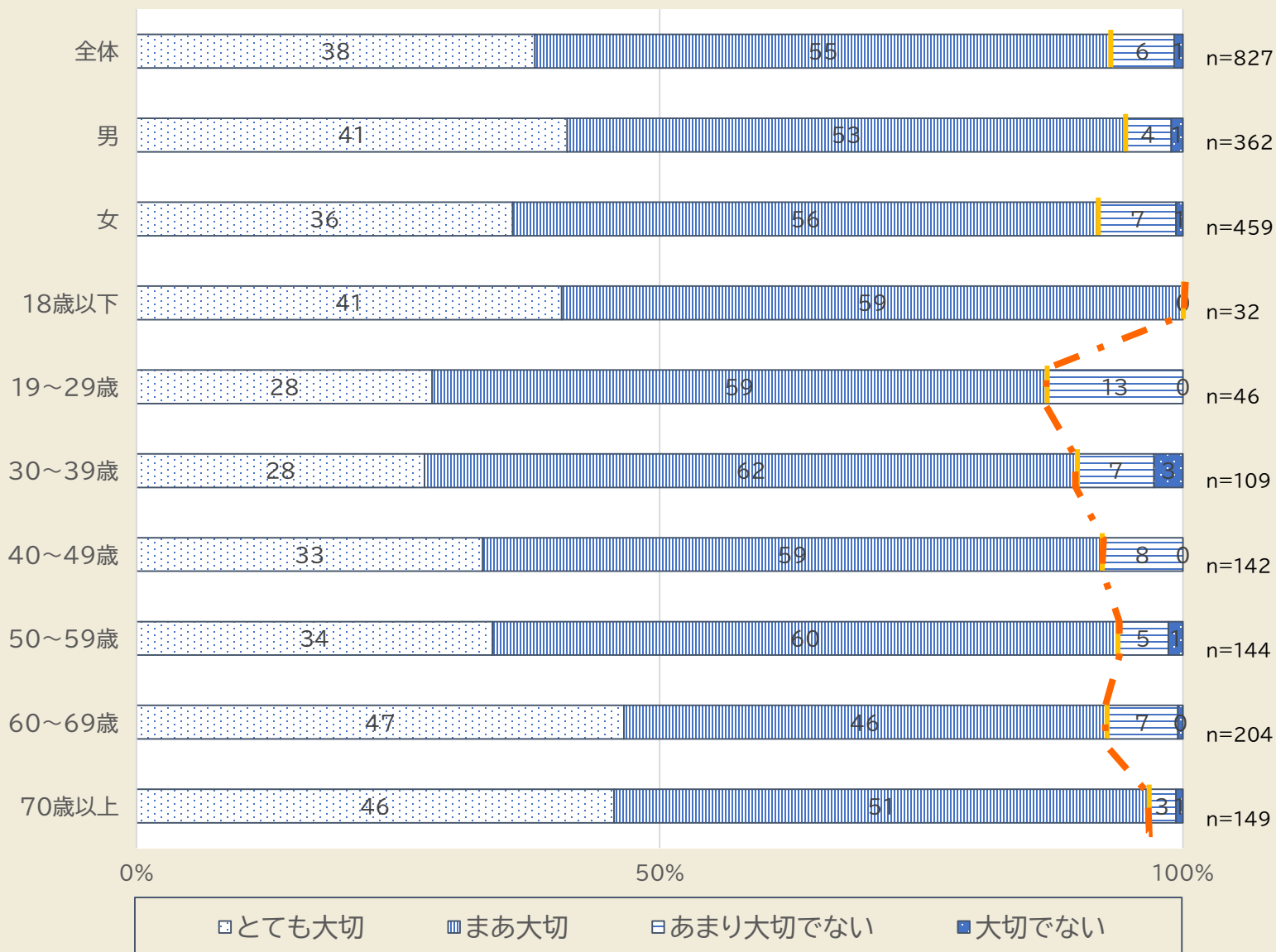


地域コミュニティの基盤となる「近所付き合い」の実際の程度について質問した。

- 「とてもある」「まあある」と回答した割合が、
- ・全体で59%で性別で大きな差は見られなかった。
  - ・18歳以下は、69%で全年代のうち2番目に回答割合が高く、親世代よりも子どものほうが近所付き合いがある。
  - ・19～29歳が、33%で年代別で最も低く、進学や就職等のライフステージの変化により、近所付き合いが激減する。
  - ・30～59歳では、概ね5割程度。一軒家への定住が進むこと(問6,7)や、子育て環境の中で近所付き合いが一定程度増加する。
  - ・60～69歳で64%、70歳以上で77%と高い割合となっていく。

## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

### 問9 ご近所の支え合い・助け合いは、大切だと思いますか？(○は1つ)



近所での支え合いあるいは助け合いの重要性に対する認識の質問である。

問8が行動の事実確認に対して、本問は回答者の意識、価値観を確認している。

「とても大切」「まあ大切」と回答している割合は

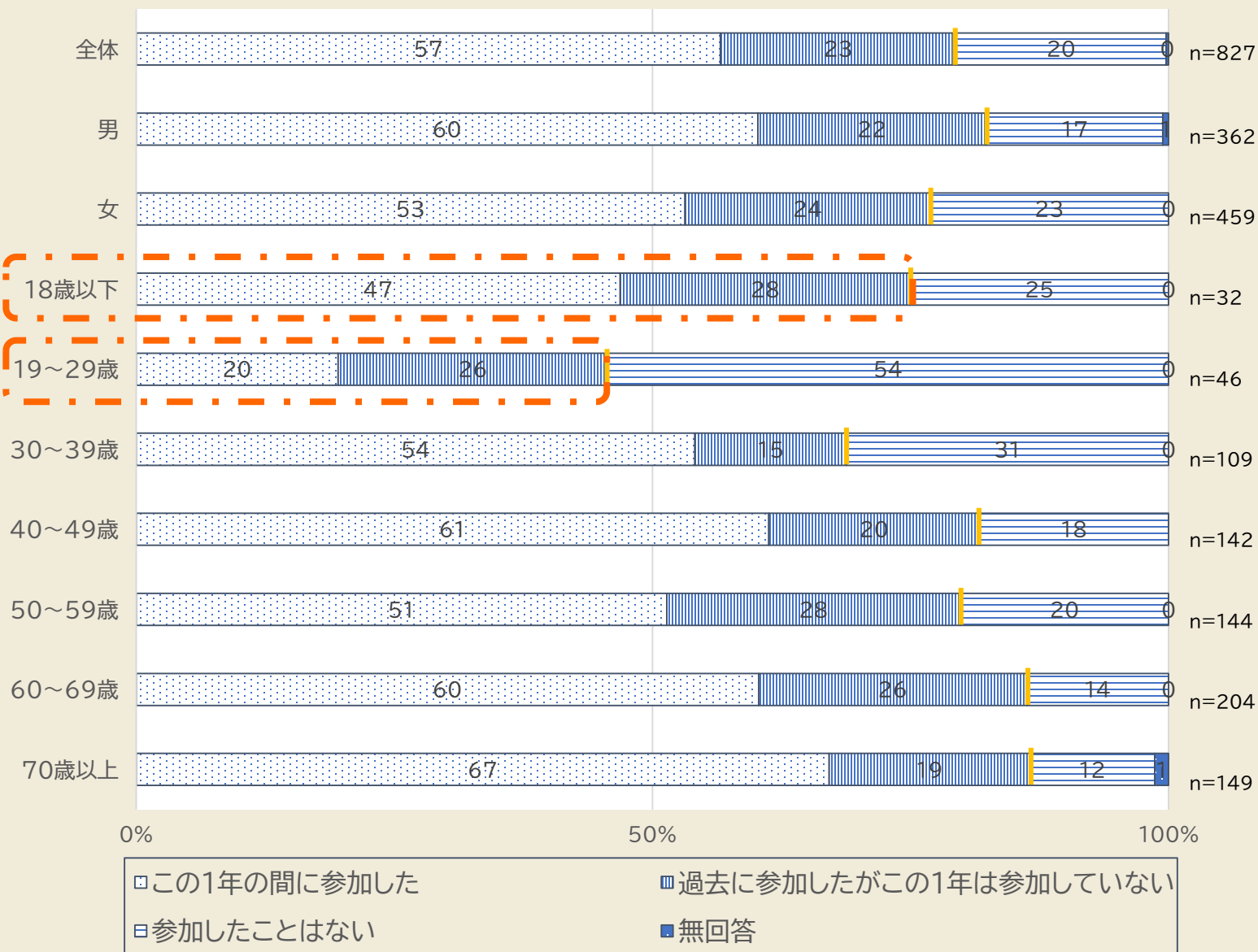
- ・全体で93%、性別による差は見られない。
- ・18歳以下では100%
- ・問8で「付き合いがある」が33%であった19~29歳においても87%
- ・すべての年代で9割前後の高い割合

「とても大切」だけでみると、

- ・19~59歳は3割前後で、60歳以上では5割近くになっており、実際の近所付き合いを踏まえてその重要性への認識を深めていくと考えられる。

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

### 問10 自治会やコミュニティの活動・イベントに参加したことがありますか？(○は1つ)



自治会やコミュニティ運営協議会の活動、イベントへの参加状況を確認する質問である。

ここでの「参加」は、運営に携わる等のいわゆる担い手から単なる来場者としての参加まで幅広く想定しており、地域活動との接点を確認している。

「この1年の間に参加した」活動層の割合では、

- ・18歳以下で47%と高い。
- ・19～29歳では20%で圧倒的に低くなり、「参加したことはない」も過半数を超える。
- ・子育て世代の30～39歳で54%、40～49歳で61%となるが、50～59歳では一旦下がる。
- ・60歳以上では6割を超える。

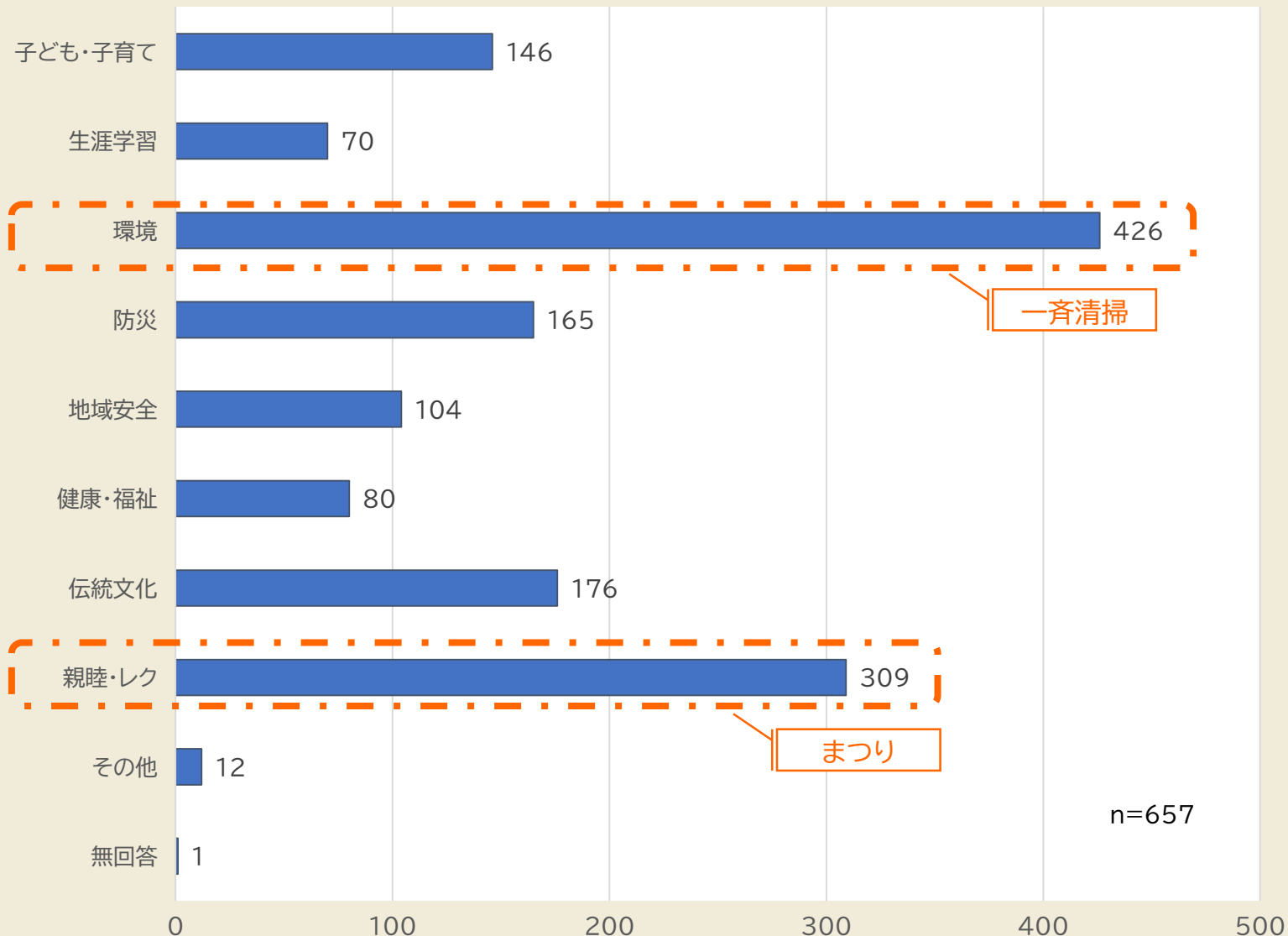
参加状況が芳しくない19～29歳について、居住年数(問6)と合わせてみたところ、

- ・「この1年の間に参加した」「過去に参加したがこの1年は参加していない」と回答した方のうちいずれも8割前後が居住年数11年以上
- ・「参加したことはない」の回答のうち、1～3年が52%、4～10年が20%、11年以上が28%であり、移住者の参加状況に課題がある。

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

問10で1,2を選んだ方のみ回答

問11 どのような活動・イベントに参加しましたか？(○はいくつでも可)



問10で「この1年に参加した」「過去に参加したがこの1年は参加していない」と回答した方に、実際に参加した活動の分野を複数選択式で質問した。

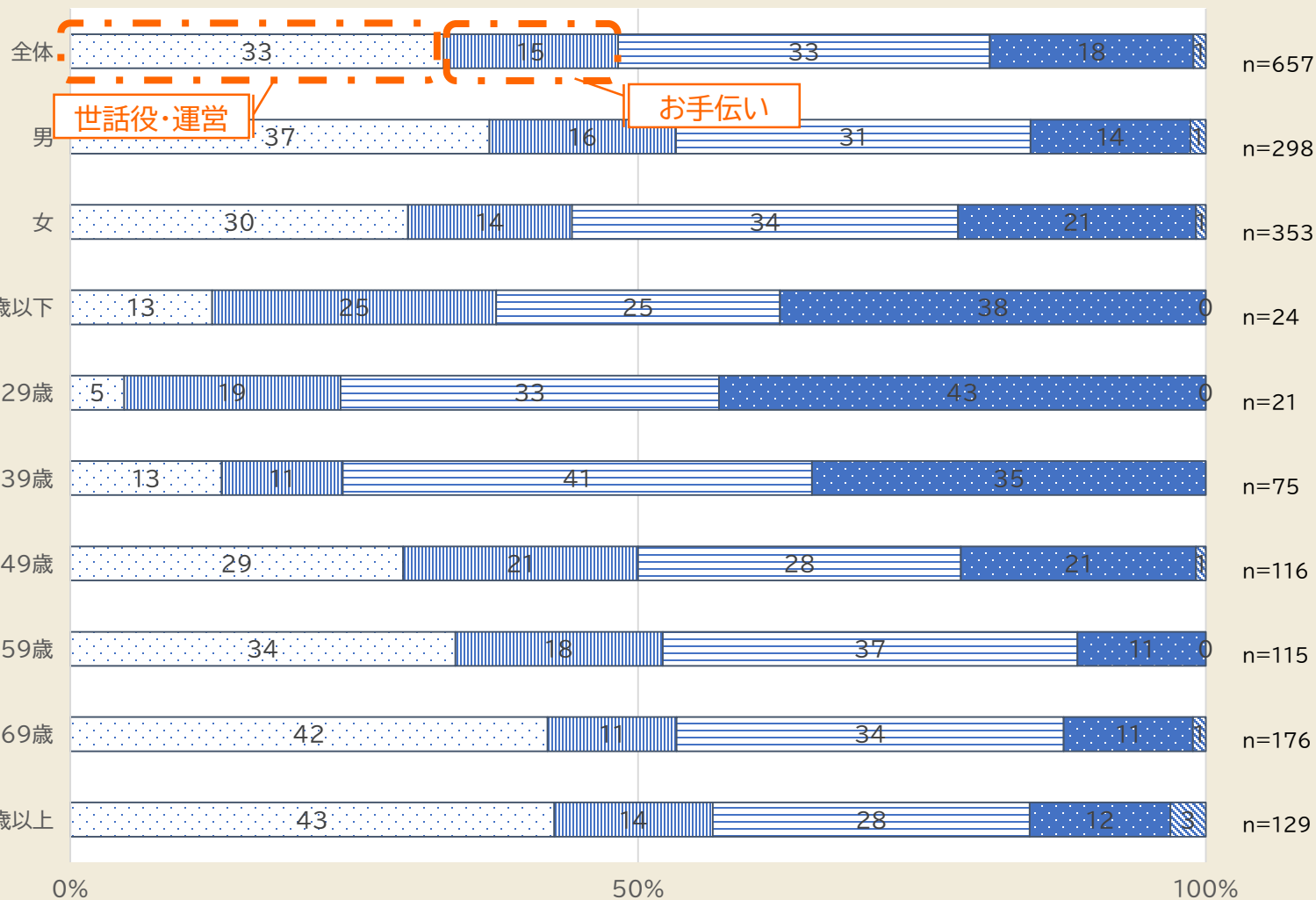
※複数選択式の質問については、回答数のグラフを表記し、性別・年代別等の回答割合を踏まえて分析する。

- ・「環境」「親睦・レク」が上位で、この2分野は性別、年代を問わず多い。
- ・具体的な活動としては、「一斉清掃」が圧倒的に多く、次いで、まつり等のイベントへの参加が主となっており、地域と重要な接点と言える。
- ・「子ども・子育て」は、性別では女性の方が関心が高い。また当事者である18歳以下や、子育て世代の30～49歳で高い回答割合となっている。
- ・「防災」は、39歳以下では低い回答割合だが、40歳以上では高くなっていく。
- ・「伝統文化」は、お神輿等の地域の神社行事で、地区別では、吉武、東郷、大島で特に回答割合が高い。

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

問10で1,2を選んだ方のみ回答

問12 その活動・イベントにはどのように参加しましたか？(○はいくつでも可)



地域活動への参加において、担い手としての関わりを深さを確認する質問である。

「活動の世話役やイベントの運営に関わった」

= 役員等で活動の中心的な役割

「活動やイベントのお手伝いとして関わった」

= 依頼や指示を受けて活動するサポーター的な役割

「全員参加型の活動に関わった」

= 一斉清掃等の活動への参加者

「イベントの来場者として行った」

= 担い手ではなく、来場者としてのみ関わった場合を想定している。

現状ではなく、過去の経験も含めた質問のため、年代が高くなるにつれて、活動の世話役やイベントの運営に関わった割合が高くなる。

複数選択式で回答を求めたが、グラフは複数回答のうち最も深い関わりのみを抽出し集計した。

・「世話役・運営」の経験は、全体で33%、性別ではやや男性のほうが回答割合が高い。

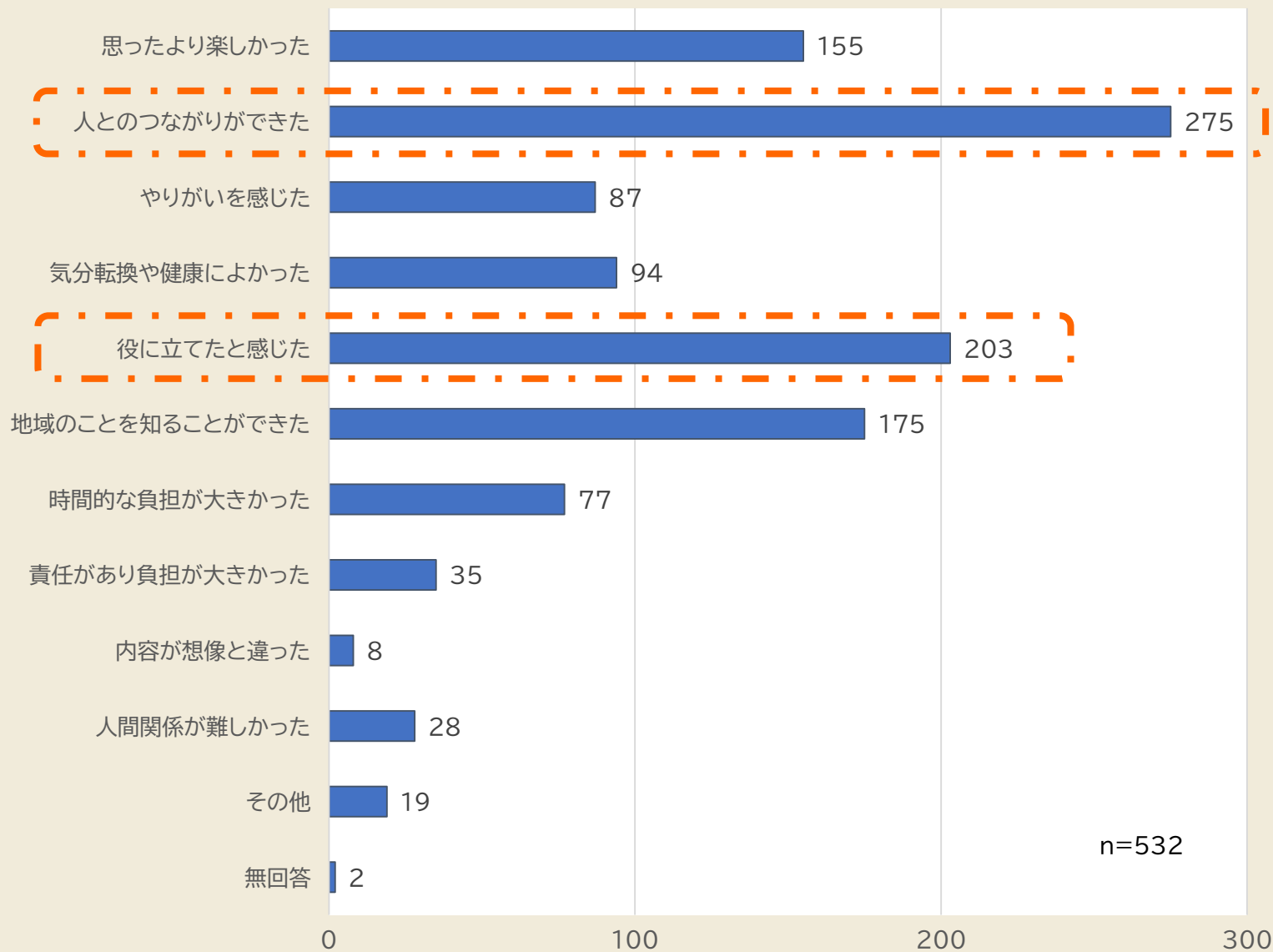
・「お手伝い」の経験は、18歳以下が25%で、若年層でありながら最も割合が高く、コミュニティ・スクールの成果もあり、様々な形で地域活動に参加する機会を得ていると考えられる。

- 活動の世話役やイベントの運営に関わった
- ▨ 活動やイベントのお手伝いとして関わった
- ▨ 全員参加型の活動に関わった
- イベントの来場者として行った
- 無回答

## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

問12で1,2,3を選んだ方のみ回答

問13 活動・イベントに関わった感想を教えてください。(〇はいくつでも可)



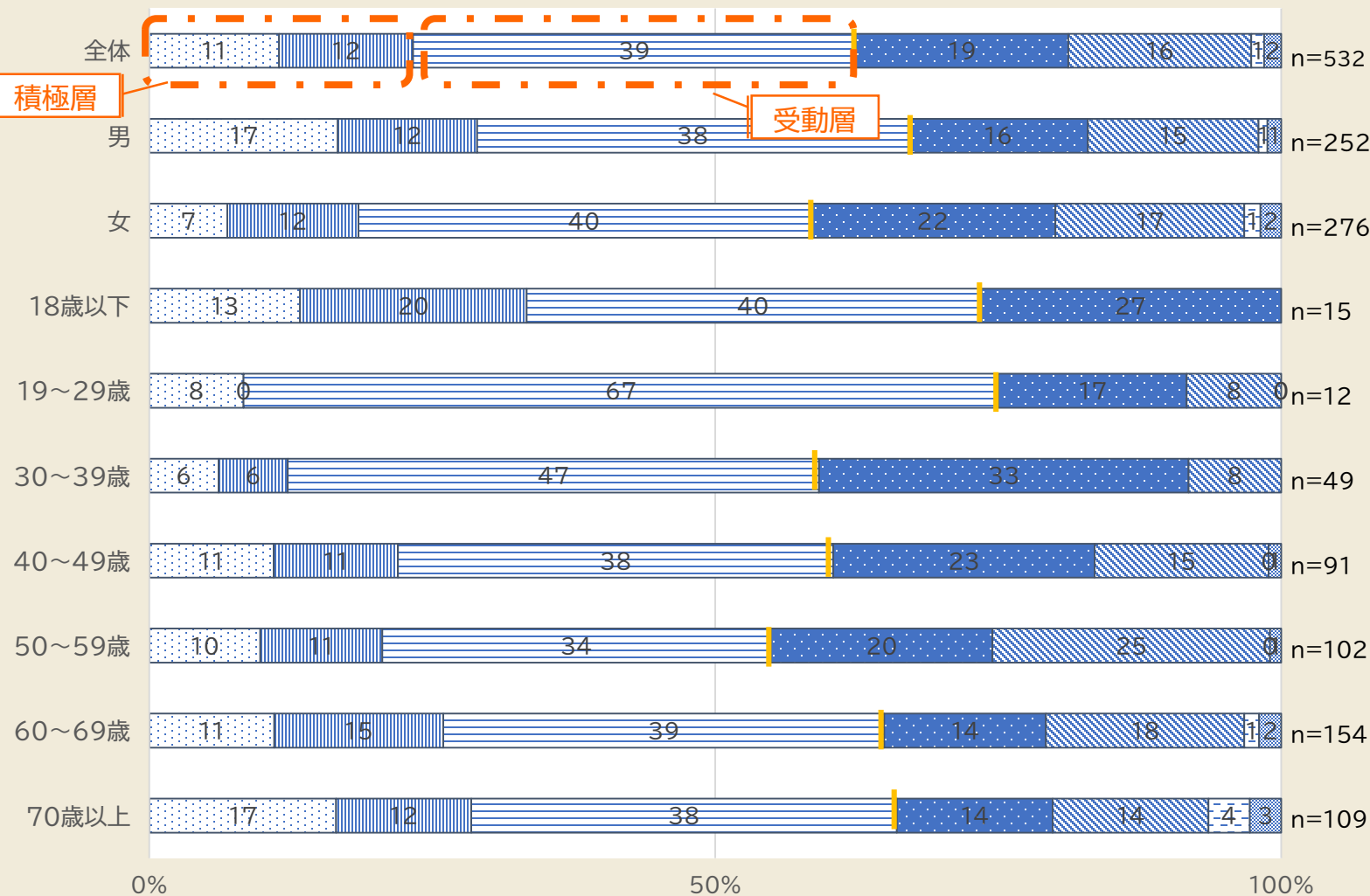
地域活動に担い手として関わった人(問12の回答が1,2,3)に、活動に取り組んだ感想、活動後の評価を複数選択式で質問した。

- ・「人とのつながりができた」が最も多く、次いで「役に立てたと感じた」「地域のことを知ることができた」「思ったより楽しかった」が多い。
- ・「人とのつながりができた」は、すべての年代で多く、年代を追うごとに回答割合も高くなる。
- ・「地域のことを知ることができた」は、各年代で回答割合が高く、60～69歳が特に高い。
- ・「思ったより楽しかった」は、39歳以下の若い世代で回答割合が高い。
- ・「気分転換や健康によかった」は、19～29歳で特に回答割合が高い。地域との日常的な関わりが少ない分、「気分転換」としてプラスに働いたと考えられる。
- ・「やりがいを感じた」は、18歳以上と40～49歳で、他の年代と比べ回答割合が高い。
- ・マイナスの感想は、全年代を通して回答割合が低かった、40～59歳で他の年代よりも高かった。

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

問12で1,2,3を選んだ方のみ回答

問14 次回はどのように関わってもよいと思いますか？(○は1つ)



地域活動への関わりを経験しての感想を踏まえ、今後どのような形なら関われるか、担い手としての将来性を確認する質問である。

「世話役や企画運営に関わってもよい」  
+「手伝い等の募集があれば関わりたい」=積極層

「お願いされたら関わってもよい」=受動層 とすると、

・全体では積極層23%。受動層39%と足し合わせると、活動経験がある人の62%=全回答者のうち4割が、何らかの担い手になってよいと考えている。

・性別で比較すると、「世話役や企画運営」で差があり、男性の方が積極性が高い回答となっている。

・18歳以下は、積極層の割合が33%で全年代で最も高い。

・実際の参加率が低い19~29歳では、積極層は8%に留まるものの、受動層が67%を占める。

・19歳以上では、年代を追うごとに積極層の割合が高まり、60~69歳で26%、70歳以上で29%となる。

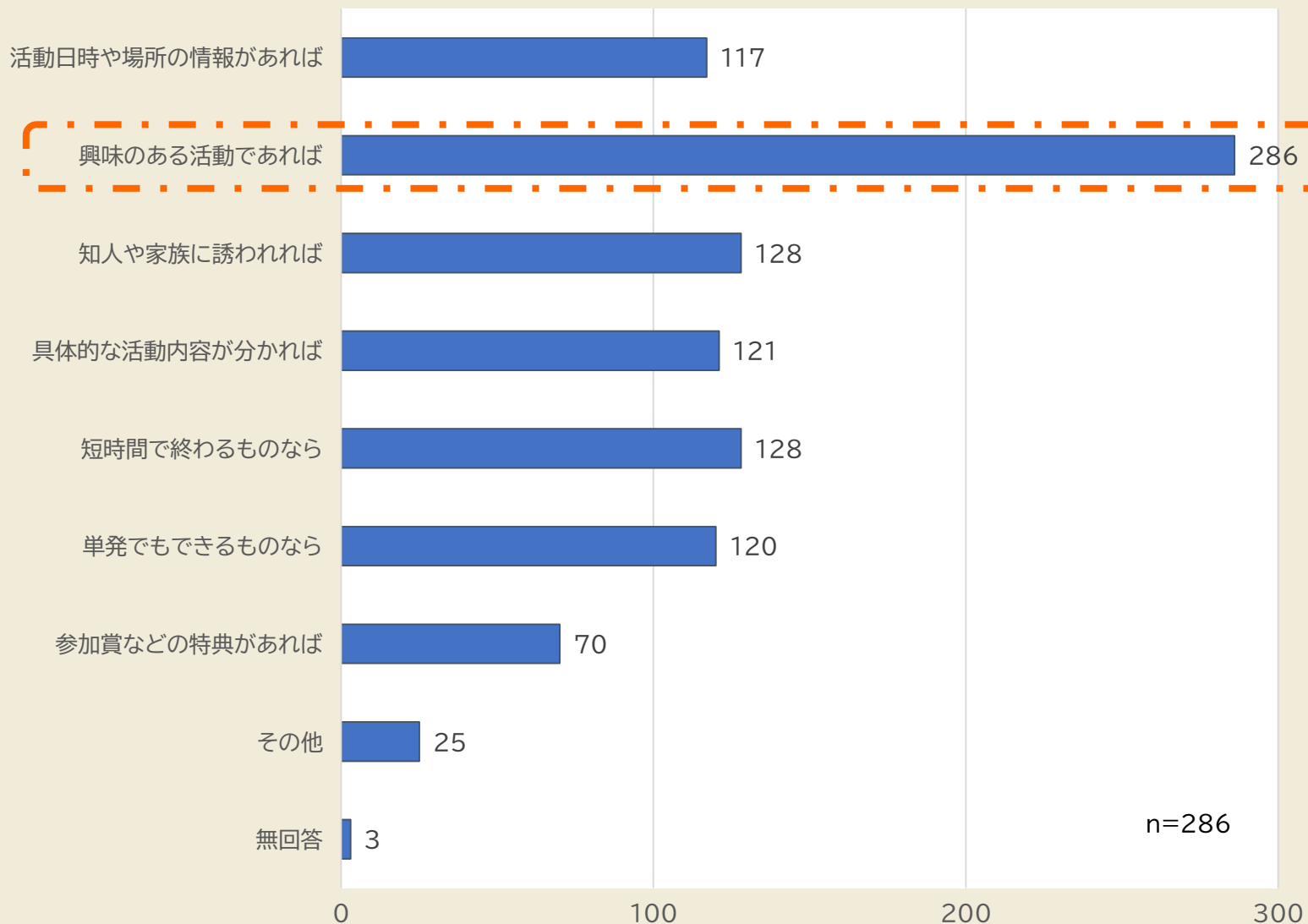
・50~59歳は、積極層と受動層を合わせた割合が55%で最も低い。

- 世話役や企画・運営に関わってもよい
- 手伝い等をお願いされたら関わってもよい
- 今は参加するつもりはない
- 無回答
- 手伝い等の募集があれば関わりたい
- 手伝い等ではなくイベントの来場者として行きたい
- その他

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

問10で3 または 問12で4を選んだ方のみ回答

問15 どんなきっかけがあれば、活動・イベントに関わりたいと思いますか？(○はいくつでも可)

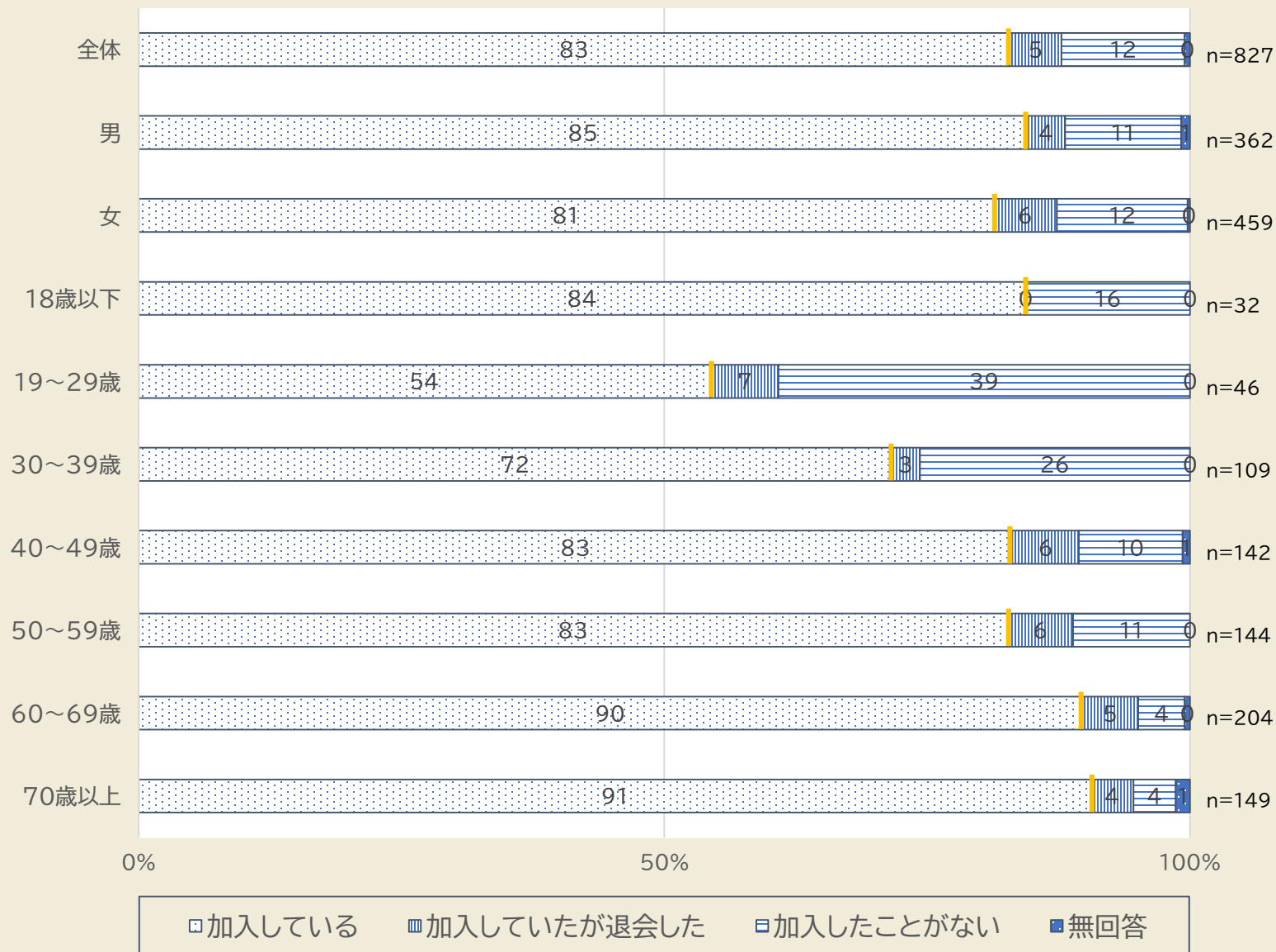


活動に参加していない、あるいは来場者としての関わりしか経験していない層に、関わりたいと思えるきっかけを複数選択式で回答を求めた。

- ・全体で「興味のある活動であれば」が最多で、性別やすべての年代でも最も多い。
- ・性別で比較すると、男性が「活動日時や場所の把握ができれば」が多く、女性は「短時間で終わる」「単発でもできる」が多くなる。
- ・「知人や家族に誘われれば」は、他の年代に比べると29歳以下が多い。
- ・「参加賞や特典があれば」は、39歳以下の若い世代が比較的多い。
- ・「単発でもできるものなら」の割合は、40～59歳あるいは女性が、他よりも多く、時間や責任の度合いを気にする傾向が見られる。

## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

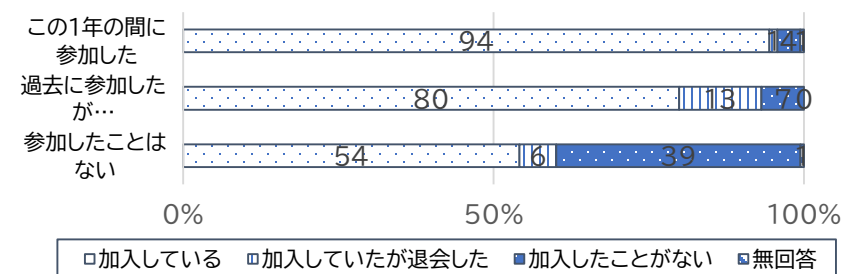
### 問16 あなたの世帯は自治会に入っていますか？(○は1つ)



地域コミュニティとの関わりの一つとして、回答者の世帯の自治会加入状況を確認した。

※市で別途集計する自治会加入率は64.7%(R7.1月末時点)。住民基本台帳を分母として世帯単位で集計しており、本調査は個人の加入率となるため、数字に乖離がある。

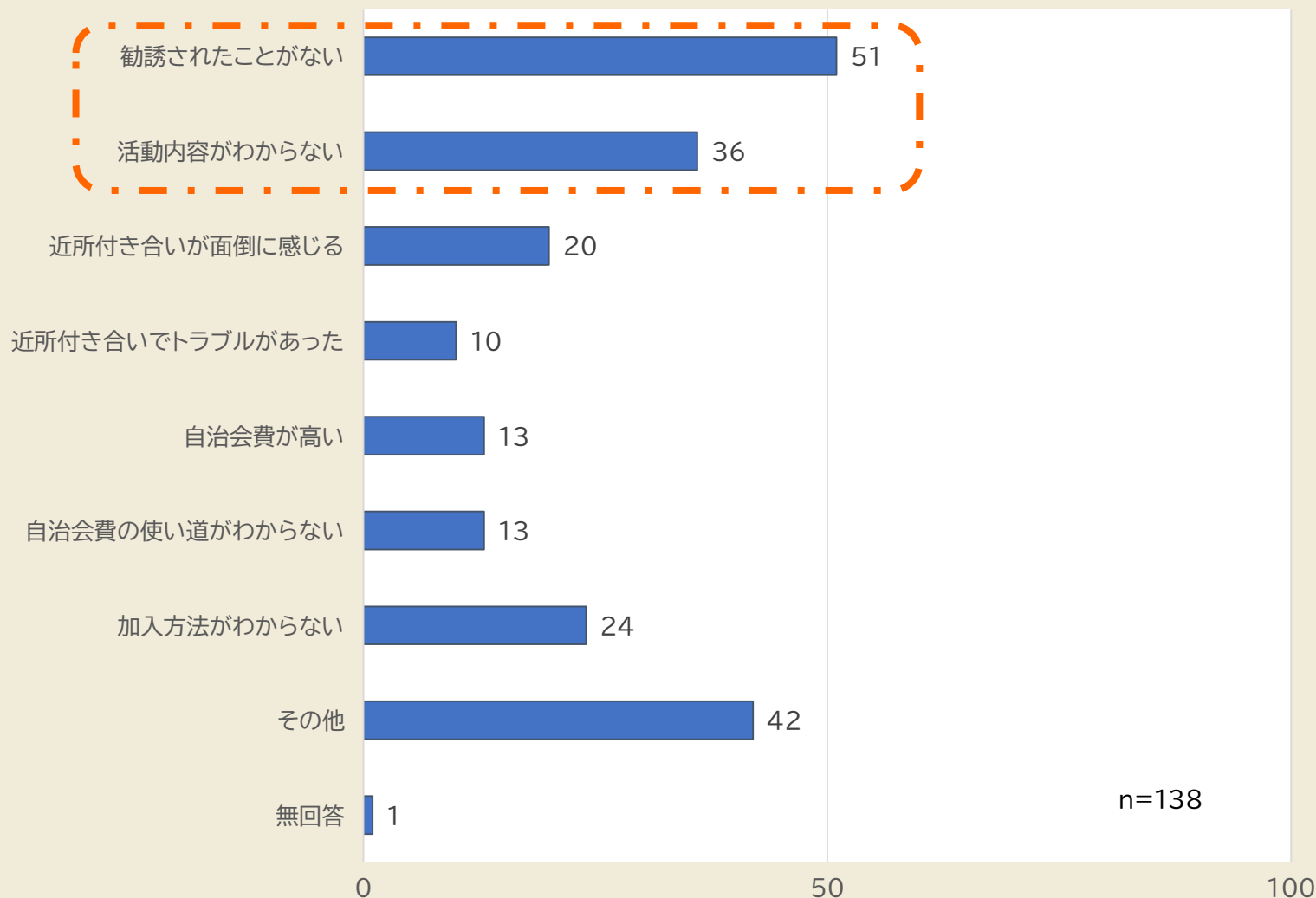
- ・「加入している」は83%で、性別でも差はない。
- ・30歳以降は年々「加入」の回答割合が高い。
- ・「加入したことがない」は12%、問7の住居形態は「一軒家持家」37%、「集合住宅賃貸」56%。
- ・年代別では、19~29歳が「加入している」54%で他の年代と比べ、大きく下がる。同年代の「加入したことがない」39%のうち、7割が集合住宅。
- ・問10と合わせると「地域活動に参加している」人のうち、加入者は94%。反対に、加入していても地域活動に「参加したことはない」が54%いる。



## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

問16で2,3を選んだ方のみ回答

### 問17 自治会に入っていない理由はどれですか？(○は3つまで)

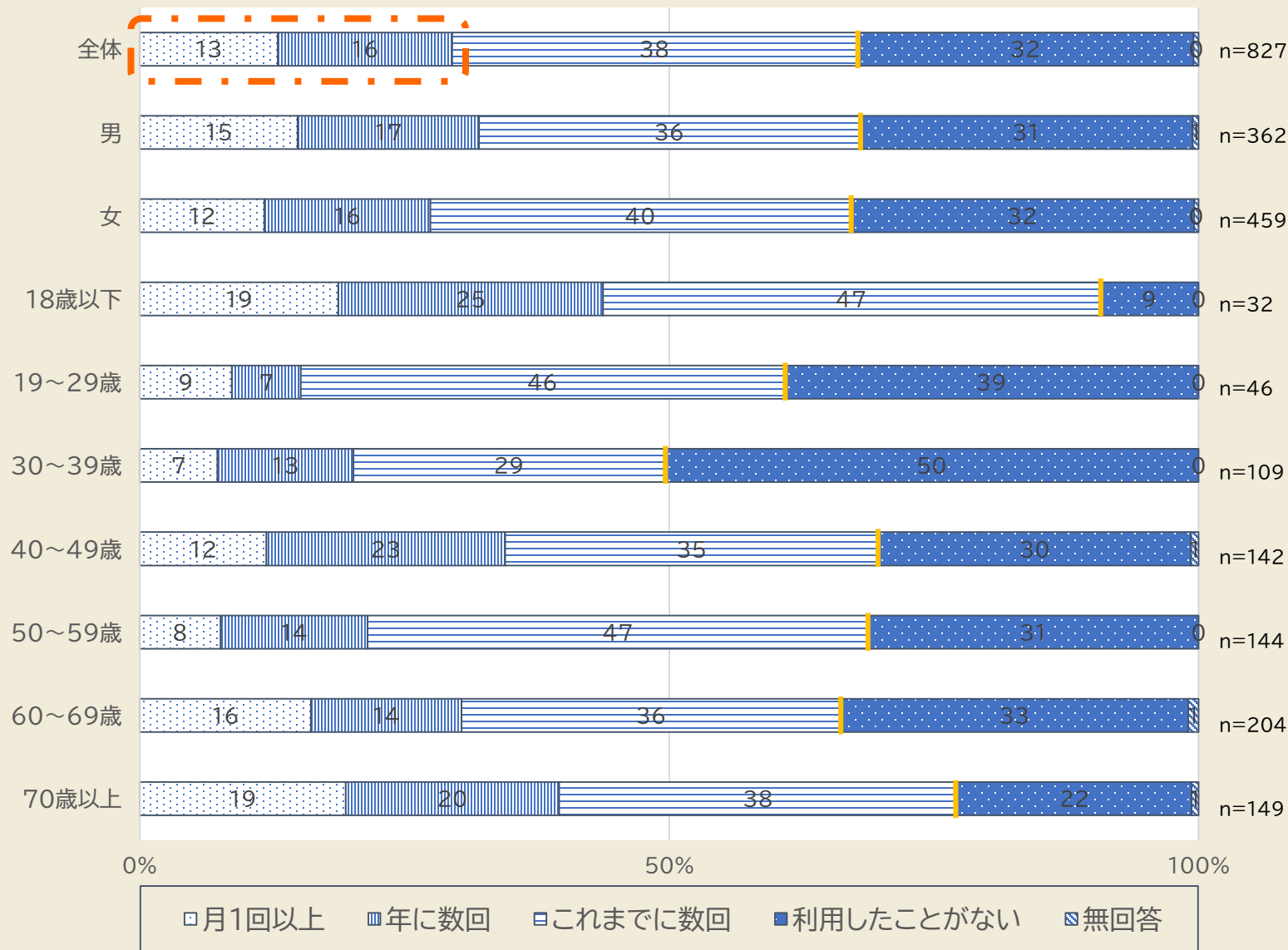


問16で「加入していたが脱会した」「加入したことがない」と回答した人に、未加入の理由を複数選択式で質問した。

- ・「勧誘されたことがない」が最も多く、19～59歳の各年代でも最も多い。そのうち2/3が「集合住宅の借家」(問7)に居住している。
- ・「その他」の具体的な内容としては、「活動に参加する時間的・体力的な余裕がない」がほとんどを占めている。
- ・「活動内容がわからない」も次いで多く、定住し始めるタイミングの30～39歳で特に多い。
- ・19～29歳では、「勧誘されたことがない」「活動内容がわからない」と合わせて、「加入方法がわからない」が上位となっている。
- ・退職等のライフステージの変化により地域で過ごす時間が長くなる60～69歳で、「近所付き合いでトラブルがあった」が多くなっている。

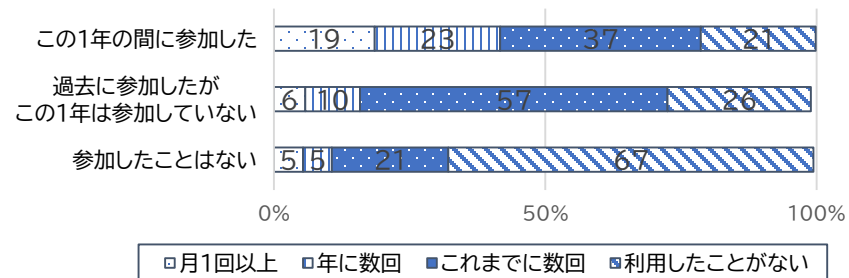
## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

### 問18 お住まいの地区のコミュニティ・センターを利用していますか？(○は1つ)



地域活動の中心拠点であるコミュニティ・センターの利用状況について質問した。

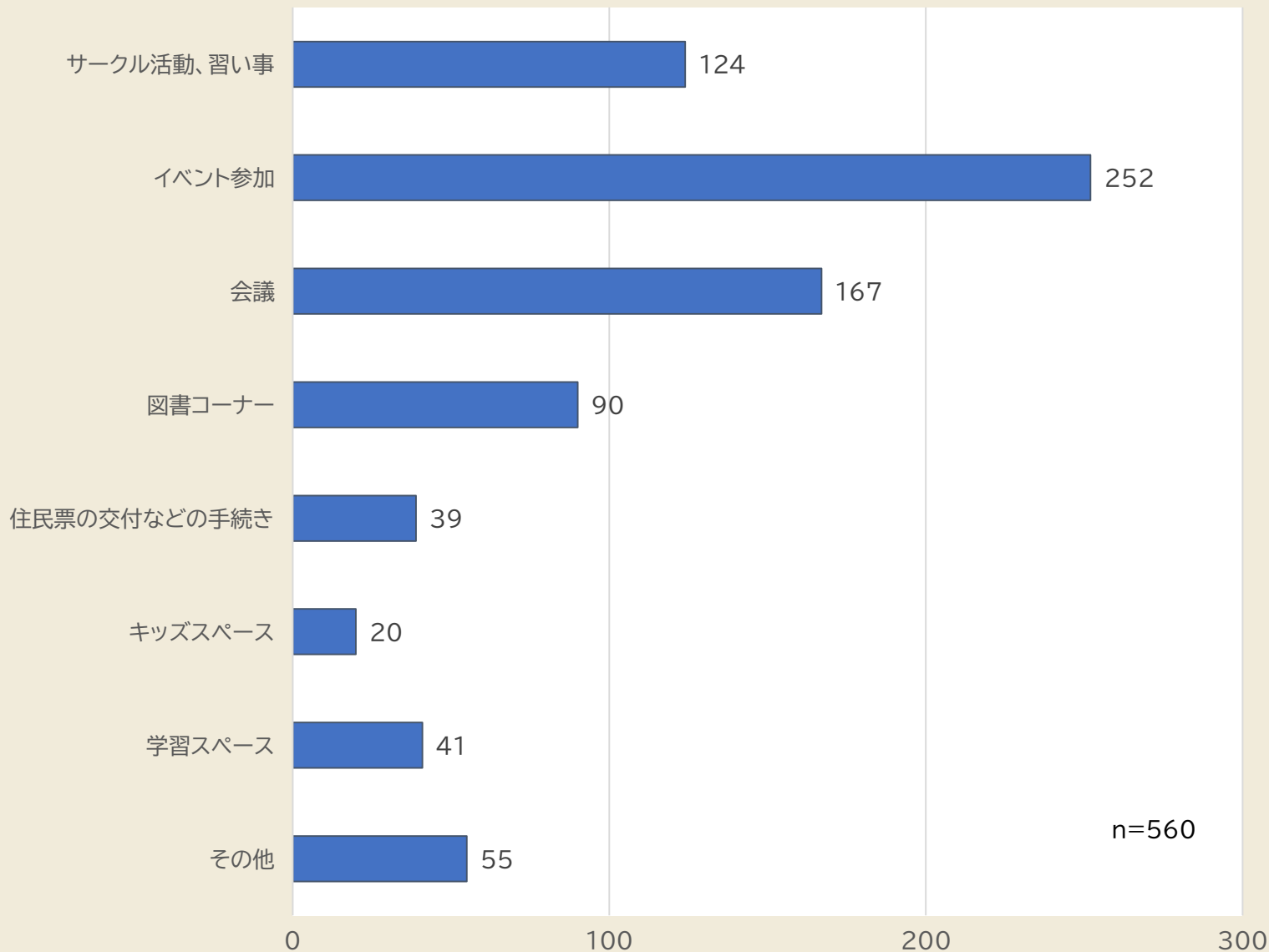
- ・全体で、利用した経験がある人が67%、「月1回以上」の定期利用が13%、「利用したことがない」32%で、性別による大きな差は見られない。
- ・18歳以下は、定期利用が19%と高齢者と同程度の高い割合になっている。「利用したことがない」の割合も他年代と比べ、圧倒的に少ない。
- ・「利用したことがない」は、30～39歳が50%で、最も高い。
- ・地区別では、これまでに利用したことがある割合が最も大きいのが赤間西で80%、利用したことがない割合が最も多いのは河東、玄海の40%。
- ・問10と合わせると、利用している層でも地域活動に「参加したことはない」が31%で、コミセン利用と活動参加が必ずしも一致しない。



## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

問18で1,2,3を選んだ方のみ回答

問19 どのような目的でコミュニティ・センターを利用していますか？(○はいくつでも)



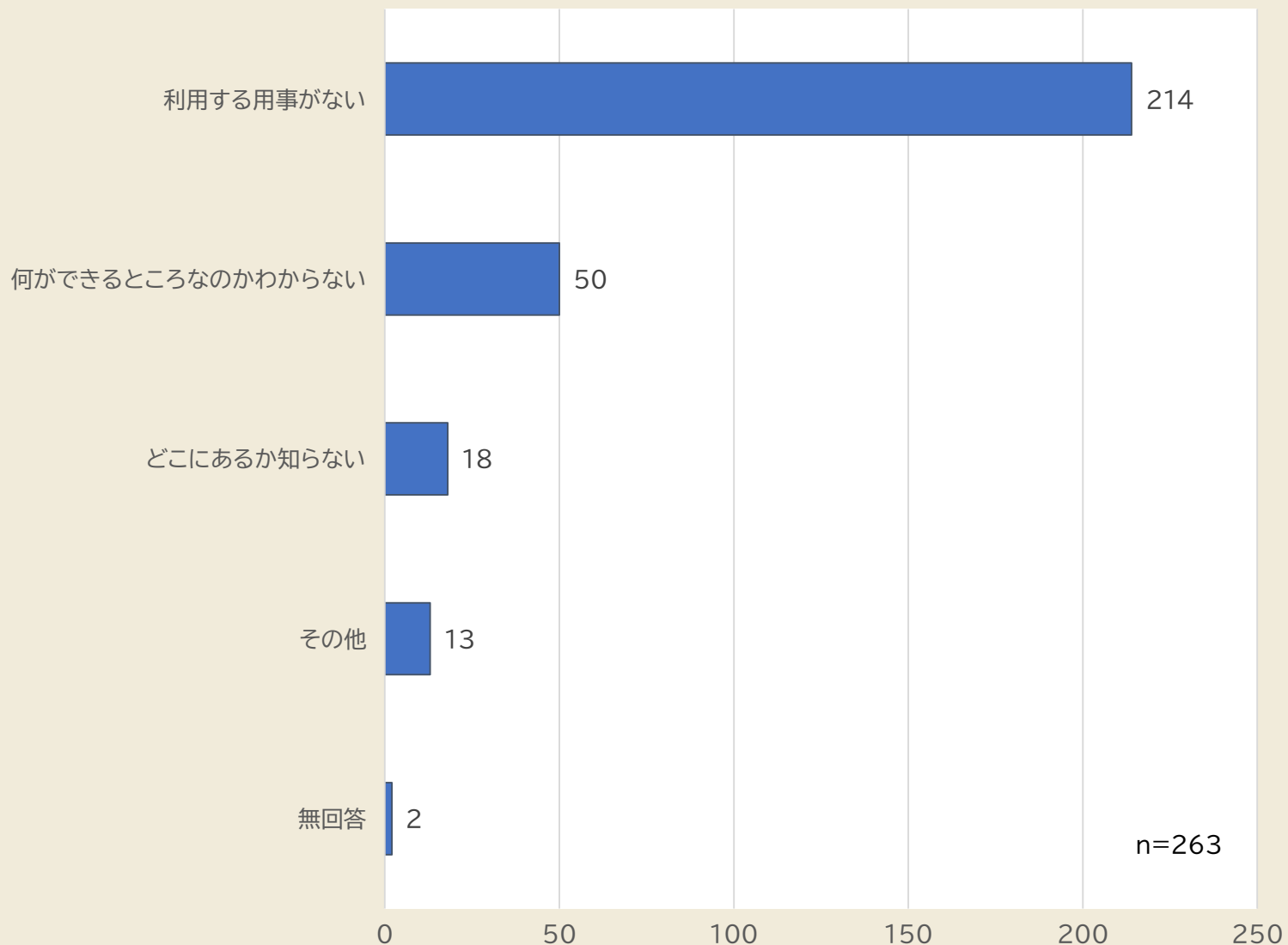
問18で、利用したことがあると回答した方に利用の目的等を確認した。

- ・全体で最も多いのが「イベント参加」で、性別、世代別、地区別でも高い回答割合となっている。
- ・次いで多いのが、「会議」で男性の回答割合が高い。地域組織の役員・構成員の男性の占める割合が高いことが要因の一つと考えられる。
- ・「図書コーナー」は、40～49歳が多く、地区別では市立図書館の分館がある河東地区が多い。
- ・「サークル活動・習い事」は、60歳以上が多い。
- ・「学習スペース」は、地区別では、赤間、自由ヶ丘が多い。
- ・「キッズスペース」は、30～39歳が多く、地区別では赤間地区が特に多い。
- ・その他の自由記述では、「選挙」が最も多かった。

## 【2】 地域コミュニティとの関わりについて

問18で4を選んだ方のみ回答

問20 コミュニティ・センターを利用していない理由は何ですか？(○は2つまで)



問18で「利用したことがない」と回答した方に、その理由を質問した。

- ・「利用する用事がない」が最も多く、性別、年代別、地区別で最多となっている。
- ・「何ができるところなのかわからない」は、30～39歳で特に多く、60～69歳まで一定数回答があった。70歳以上では極端に少なくなっている。
- ・「どこにあるかわからない」は、定住し始める30～39歳が最も多い。

## 【2】地域コミュニティとの関わりについて

### 問8～20 まとめと考察

#### 【近所付き合いの行動と価値観】

問8 近所付き合いが「ある」と答えた割合は、70歳以上(77%)が最も高く、次いで高いのは18歳以下(69%)で、親世代よりも付き合いがあると回答している。直後の19～29歳(33%)で大きく落ち込む。

問9 近所の支え合いや助け合いは「大切」と回答した割合は93%。年代別では、すべての年代が「大切」だと考えており、問8で近所付き合いが「ある」割合が最も低かった19～29歳でも87%できた。

#### 【地域への参加・参画】

問10 地域の活動・イベントに「この1年に参加した」活動層が57%、「過去に参加した」経験層が23%で、多くの市民が地域活動への参加の経験があることが明らかになった。20代の参加割合は低いが、10代は他の年代以上に高く、参加した活動は、一斉清掃、まつりが多い。

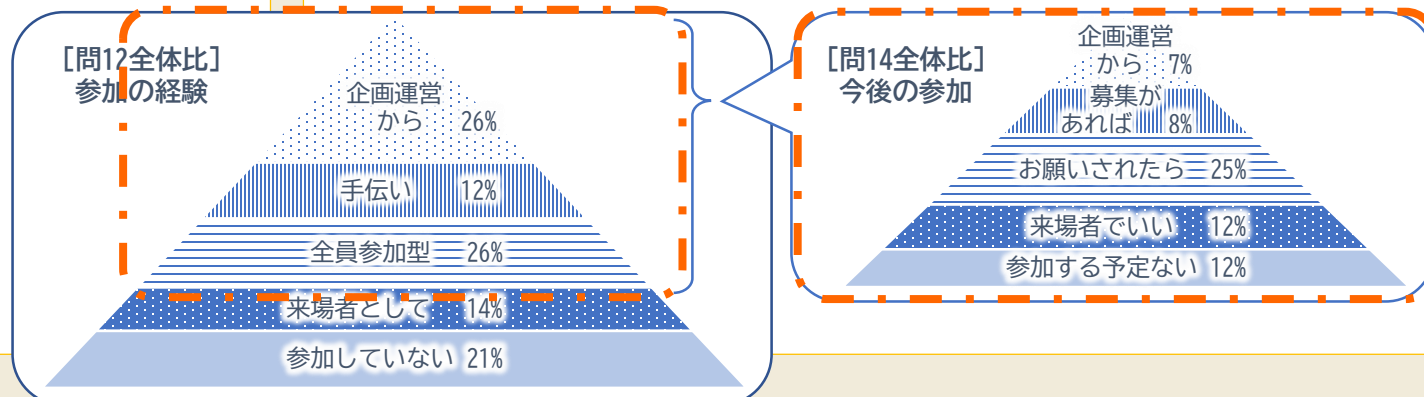
問12 活動への関わり方について、回答者全体を分母にすると、企画運営から関わった層と、全員参加型の活動に参加した層がそれぞれ26%で最も高い。(ピラミッド図[問12全体比]のとおり)

問14 今後の関わり方は、担い手として関わってもよいが62%で、うち「手伝いをお願いされたら」の受動層が25%と最も高い。(ピラミッド図[問14全体比]のとおり)

問15 非活動層が活動するきっかけとして「興味のある活動であれば」が29%で最も高く、住民の興味・関心を把握していく必要がある。

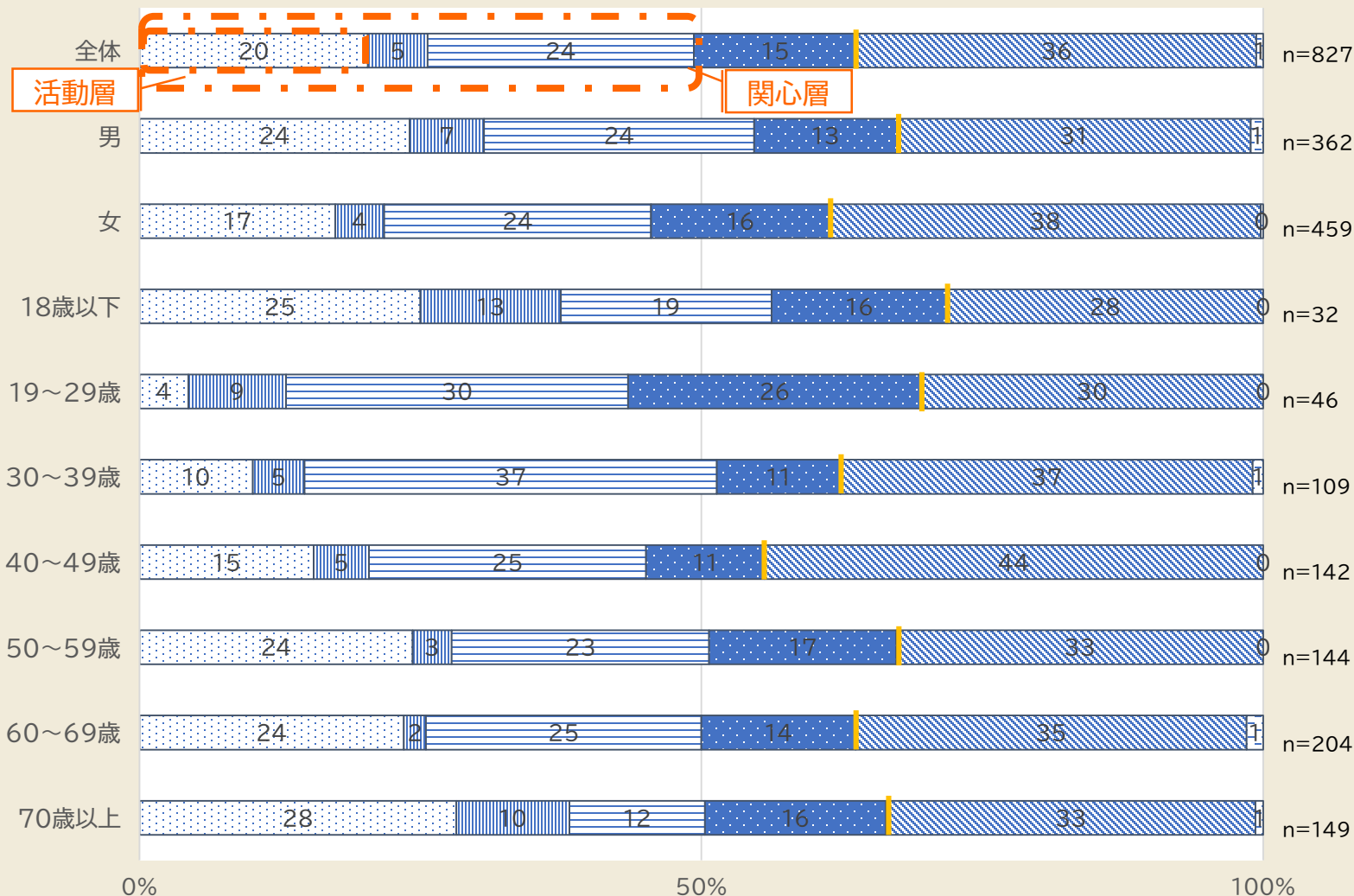
#### 【若年層を中心とした新たな担い手のヒント】

- ・近所付き合いは、特に若年層で行動と価値観に乖離がある。
- ・ほとんどの質問において、18歳以下は地域活動への参加に前向きな回答が多い。本市では、令和4年度から「小中一貫コミュニティ・スクール」の取り組みが全地区で本格化しており、小中学生の地域と関わりが増えた効果が表れている。
- ・20代は、過半数が10代から住み続けているが、地域活動への参加の意識や行動は、すべての質問で他年代より低い。進学や就職、結婚等の環境の変化が大きく地域に関わる時間は限定されるが、10代での経験や関心を継続できるような取り組み、仕掛けの検討が必要である。
- ・地域活動への今後の関わりについては、「お願いされたら」が最多で、受動層の割合が圧倒的に多いことがわかった。担い手確保には、日常的・継続的な声かけが第一歩と言える。
- ・参加した活動は「一斉清掃」が圧倒的に多いため、一斉清掃を地域コミュニティの関わりのチャンスと捉え、その後の活動参加へ向けた声かけ等の機会をつくる必要がある。



### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

問21 市民活動・ボランティア活動に取り組んだことはありますか？また、やってみたいと思いますか？（○は1つ）

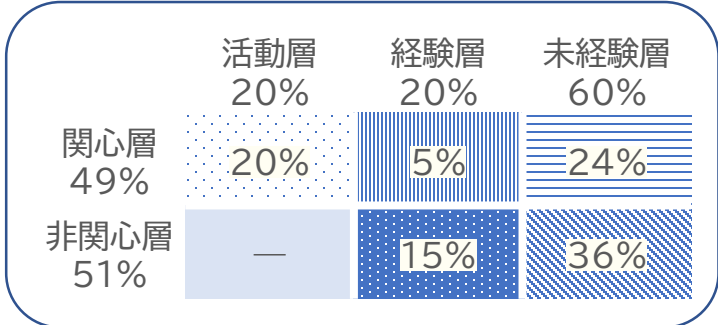


活動層

関心層

市民活動・ボランティア活動(自治会やコミュニティ等の地域活動を除く)への取り組み状況、経験と関心を確認する質問である。

・全体で、「この1年の間に取り組んでいる」活動層が20%、過去に取り組んだ「経験層」が20%、経験を問わず関心がある「関心層」が49%で、性別で大きな差は見られない。



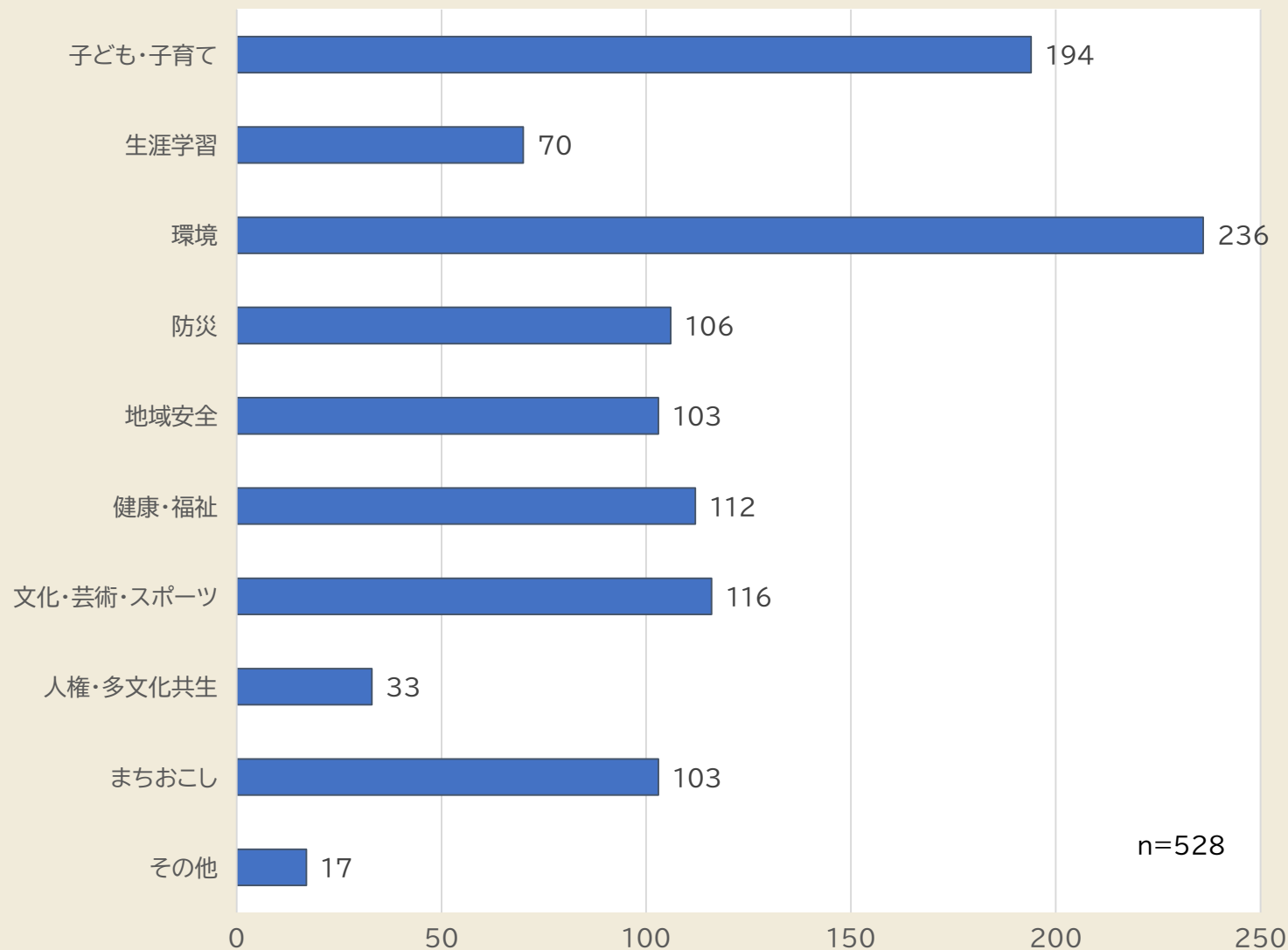
・「取り組んだことがなく、今のところやるつもりはない」は36%で、年代別もいずれも割合が高い。  
 ・30～39歳は、活動層・経験層は少ないが「いずれやってみたい」未経験の関心層は37%で最も高い。

この1年の間に取り組んでいる  
 この1年の間は取り組んでいないが、またやりたい  
 取り組んだことはないが、いずれやってみたい  
 取り組んだことはあるが、今のところやるつもりはない  
 取り組んだことがなく、今のところやるつもりもない  
 無回答

### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

問21で1,2,3,4を選んだ方のみ回答

問22 取り組んだことがある・やってみたい活動分野を教えてください。(〇はいくつでも可)



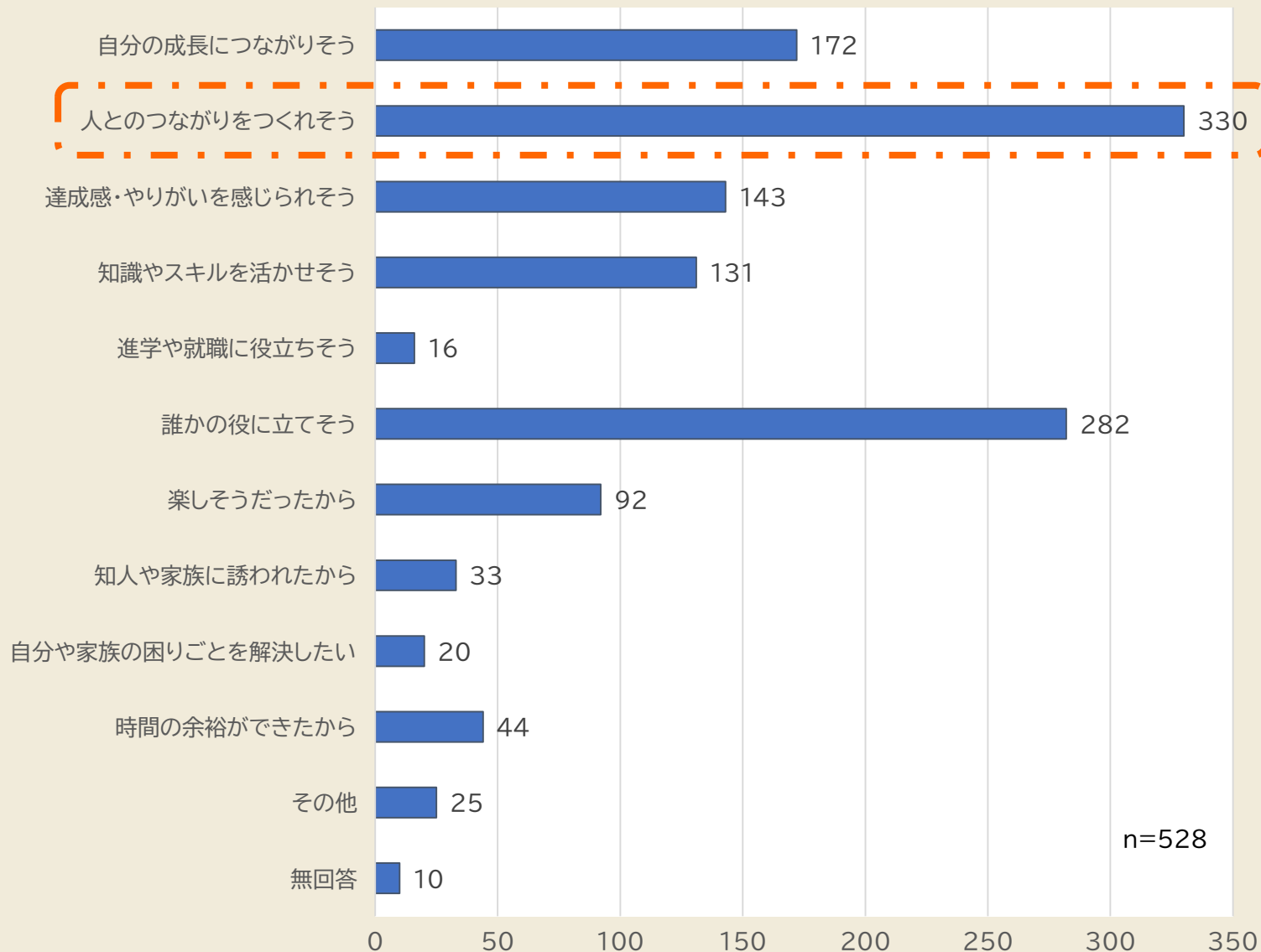
経験層・関心層を対象に、経験があるまたは関心のある活動分野について、複数選択式で回答を求めた。

- ・「環境」は、最も回答数が多く、いずれの性別・年代でも2割前後の回答割合であった。具体的には、清掃活動が多く挙げられていた。
- ・「子ども・子育て」は、2/3が女性で、年代別では30～49歳の子育て世代の回答割合が高い。
- ・「文化・芸術・スポーツ」は、各年代で一定数選択されており、特に18歳以下で回答割合が高い。
- ・「健康・福祉」は、30～39歳が最も回答割合が低く、年代が上がるにつれて高まっている。
- ・「防災」と「地域安全」は、いずれも回答の7割が男性で、年代が上がるごとに回答割合が高まる。
- ・「まちおこし」は、40～49歳が最も回答数が多く、若い世代のほうが回答割合が高い。

### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

問21で1,2,3,4を選んだ方のみ回答

問23 取り組みたい・やってみたいと思った理由は何ですか？(○はいくつでも可)



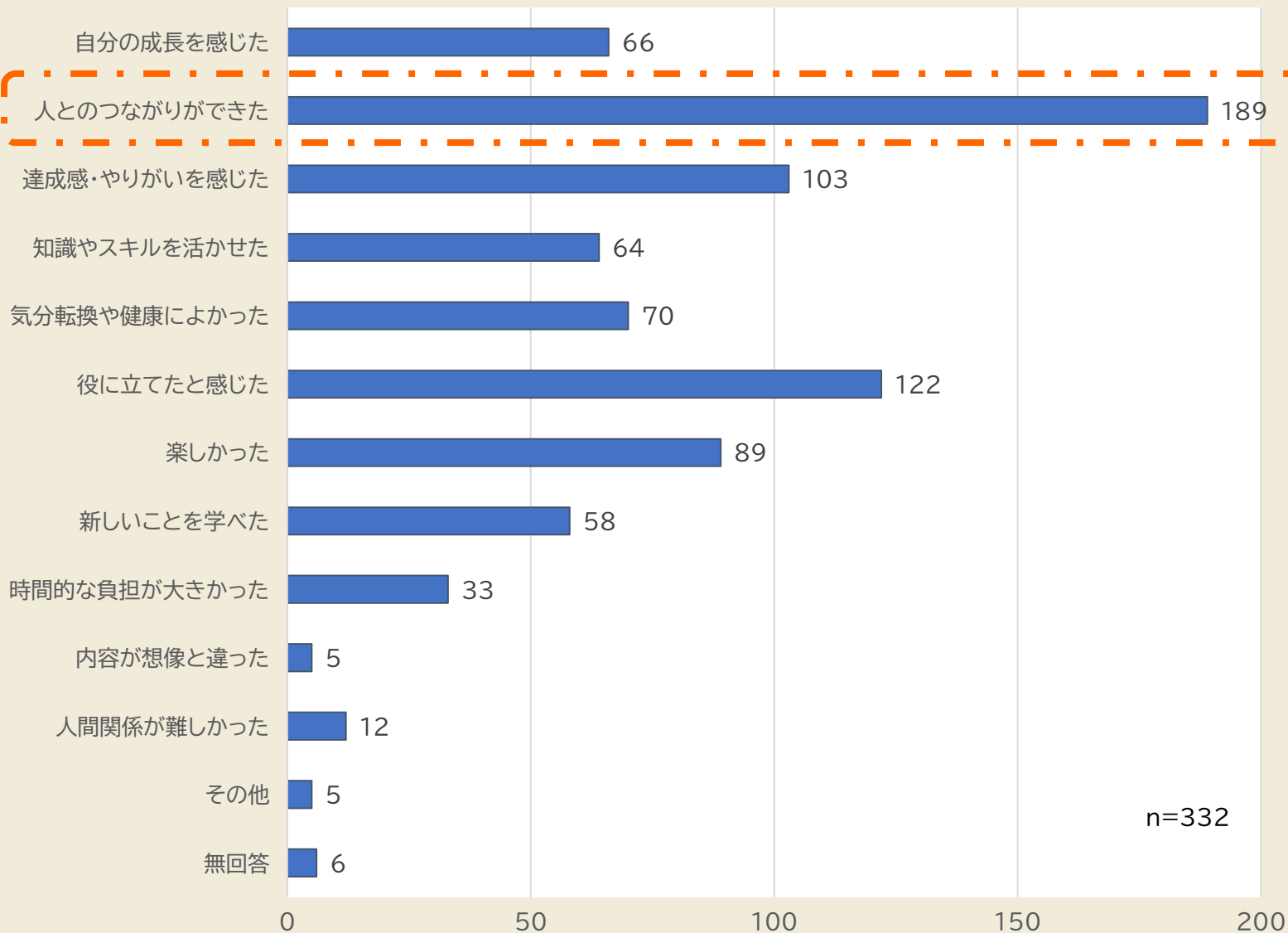
経験層・関心層に対して、取り組みたい・やってみたいと考えた理由、すなわち活動に対する期待を質問した。

- ・「人とのつながりをつくれそう」が最も多く、次いで「誰かの役に立てそう」が多く、いずれの性別、年代でも多い。
- ・「自分の成長につながりそう」は、18歳以下で回答割合が高く、年代が上がると割合が下がる。
- ・反対に「知識やスキルを活かせそう」は、年代が上がるにつれて割合が高くなり、70歳以上が最も高い。
- ・「楽しそうだったから」は、19～39歳で他の年代より回答割合が高く、40歳以上では、回答割合は低くなっている。

### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

問21で1,2,4を選んだ方のみ回答

問24 活動に取り組んだ感想を教えてください。(〇はいくつでも可)



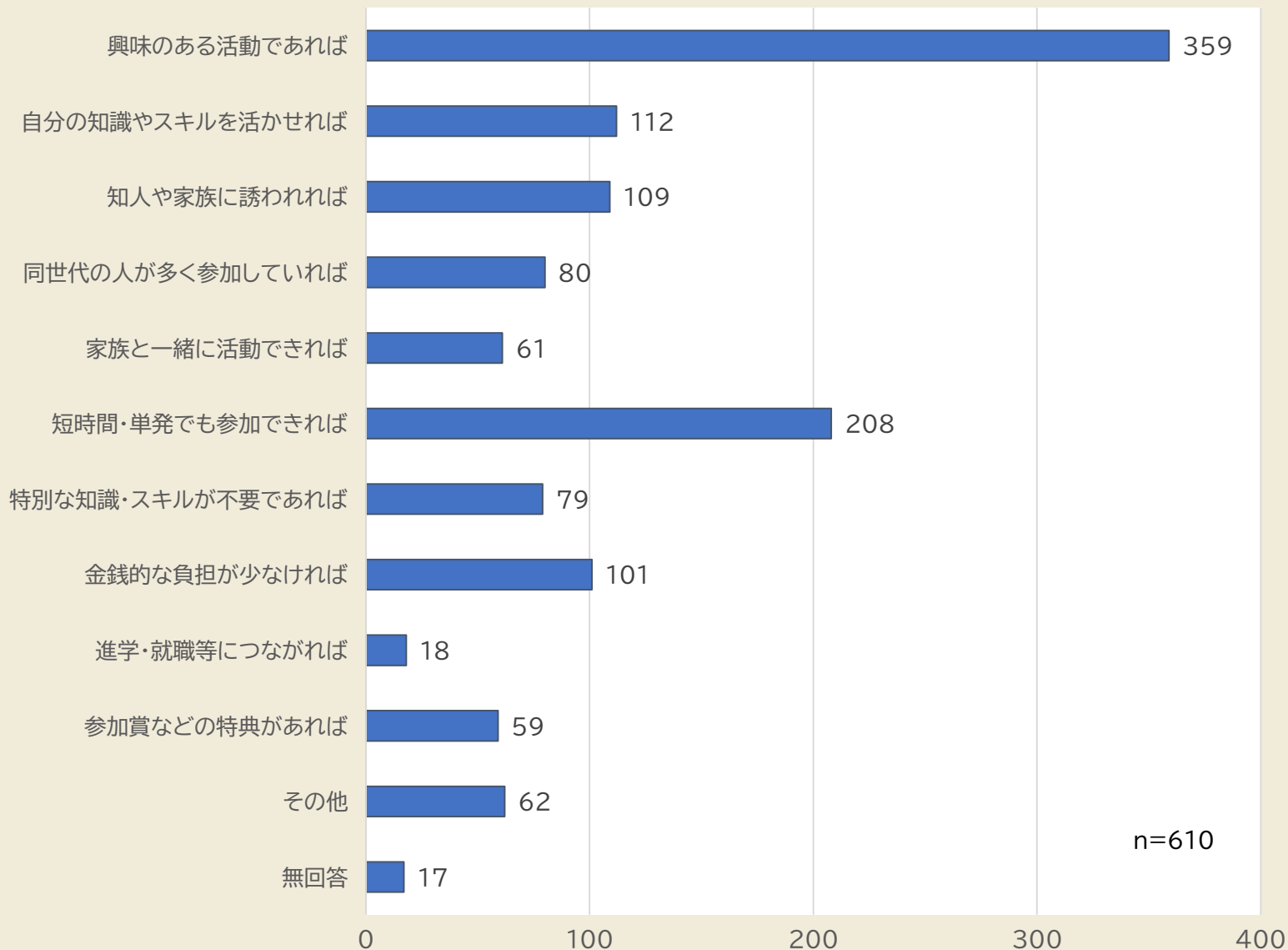
経験層に対して、取り組んだ後の感想、活動に参加した結果を質問した。

- ・前問の期待と同様に、「人とのつながりができた」が全体で最も回答数が多く、性別による差は見られなかった。年代別では30歳以上の各年代で回答割合が最も高い。
- ・次いで「役に立てたと感じた」が高く、年代別の回答割合では、18歳以下と50歳以上の各年代で特に高い。
- ・「達成感・やりがいを感じた」は、期待・結果ともに各年代の10～15%程度の回答割合である。
- ・「楽しかった」は、特に29歳以下での回答割合が他の年代よりも高く、前問の期待を結果が上回る値となっている。
- ・「自分の成長を感じた」は、29歳以下で回答割合が高く、「知識やスキルを活かした」は、50歳以上の各年代で回答割合が高い。

### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

問21で3,4,5を選んだ方のみ回答

問25 どんなきっかけがあれば活動に取り組むと思いますか？(○はいくつでも可)



未経験層に対して、活動に取り組むにはどのようなきっかけがあればよいかを質問した。

- ・「興味がある活動であれば」が最も多く、性別や各年代別でも最も多い値となっている。
- ・「短時間・単発でも参加できれば」は、年代を追うごとに回答割合が高くなっており、特に50～69歳が他の年代よりも高い。
- ・「自分の知識やスキルを活かせれば」は、各年代で概ね1割程度の回答割合となっている。
- ・「知人や家族に誘われれば」は、30～49歳で特に回答数が多い。
- ・「金銭的な負担が少なければ」は、特に19～29歳で回答割合が高い。
- ・「参加賞などの特典があれば」は、30～39歳で特に回答数が多く、若い世代の回答割合が高い。

### 【3】 市民活動・ボランティア活動について

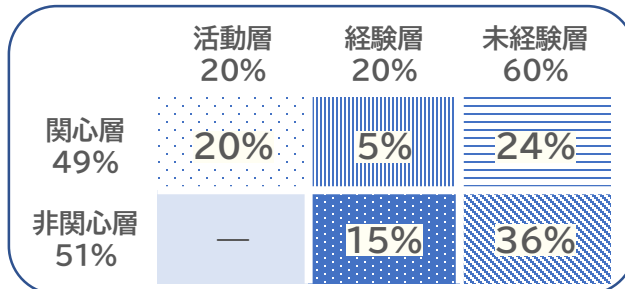
#### 問21～25 まとめと考察

#### 【市民活動・ボランティア活動への経験と関心】

問21 市民活動等への参加について、「この1年で参加」が20%で全国平均を上回っている。

※「市民の社会貢献に対する実態調査」令和4年内閣府:17%

現在活動していない関心層は、全体の29%。特に30代では、未経験の関心層が37%で、他年代よりも潜在的な活動人材が多い。



問22 経験のある分野、関心の高いでは、「環境」「子ども・子育て」が特に高い。「環境」は清掃等のボランティア活動が主。市の市民活動団体登録は「子どもの健全育成」の団体が3割弱と最も多く、同様の傾向。なお、経験と関心を合わせて聞いたが、両者でほとんど差はなかった。

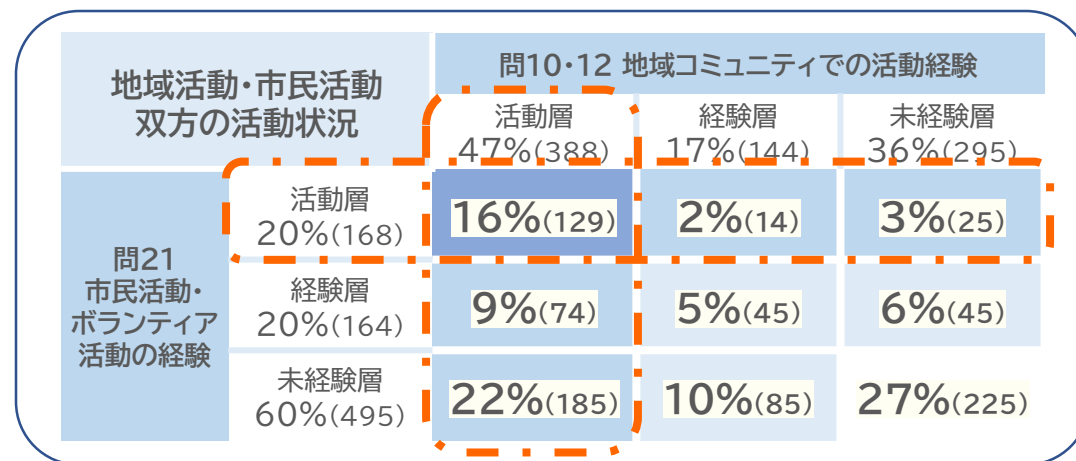
問23 活動に取り組む前の期待は、「人とのつながりがつくれそう」が最も多く、すべての性別・年代で高い割合。次いで「誰かの役に立てそう」が多いが、若い世代では「成長につながりそう」のほう回答割合が高く、年代を追うと、「知識やスキルが活かされば」が上がる。

問24 活動に取り組んだ後の結果も同様に「人とのつながりができた」が最も多く、「役に立てたと感じた」が続く。問23の期待値と比べると「楽しかった」の回答割合が大きく上がっている。

問25 参加のきっかけは「興味のある活動があれば」が最多で、「短時間・単発でも参加できれば」が続く。

#### 【地域活動・市民活動双方の参加】

問21の結果を、地域活動を問10・12と合わせると、地域活動または市民活動にこの1年に取り組んだ市民の割合は52%で過半数を超えている。両方に参加しているのは16%で、双方未経験は27%。市民活動に参加している人は、地域活動にも参加している割合が高い。



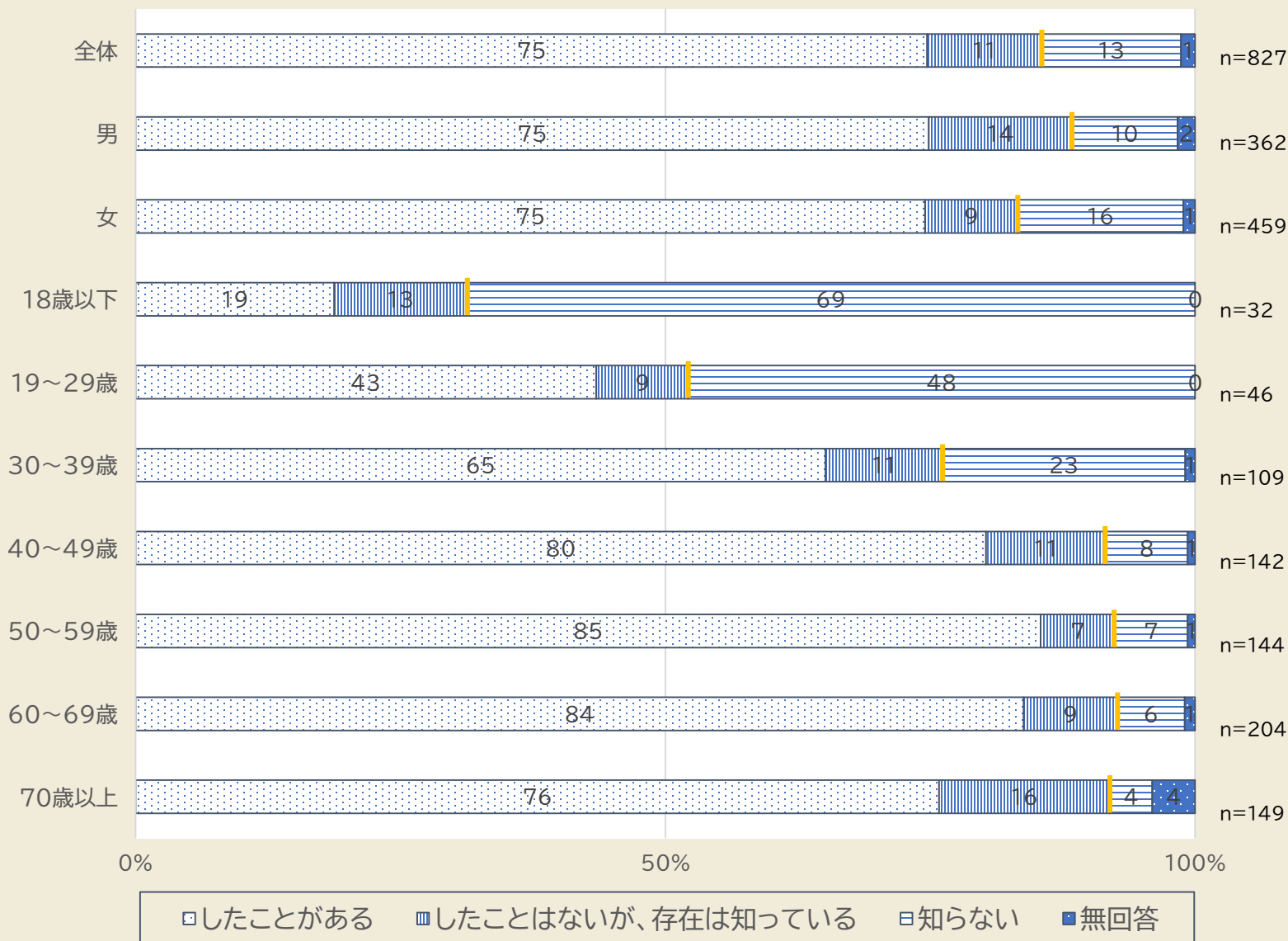
本市の地域活動・市民活動の参加状況は、国や近隣市等と比べても盛んで、まちづくりに関わる人材が多い地域特性があると言える。

市内では、すでに多種多様な市民活動・ボランティア活動が展開されている。今後の活動への参加、参画を一層広げていくには、市民活動団体やボランティア活動に関する情報発信やマッチングの強化と合わせて、活動に気軽に参加できる環境、仕組みづくりを検討していく必要がある。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-①市広報紙「むなかたタウンプレス」を読む



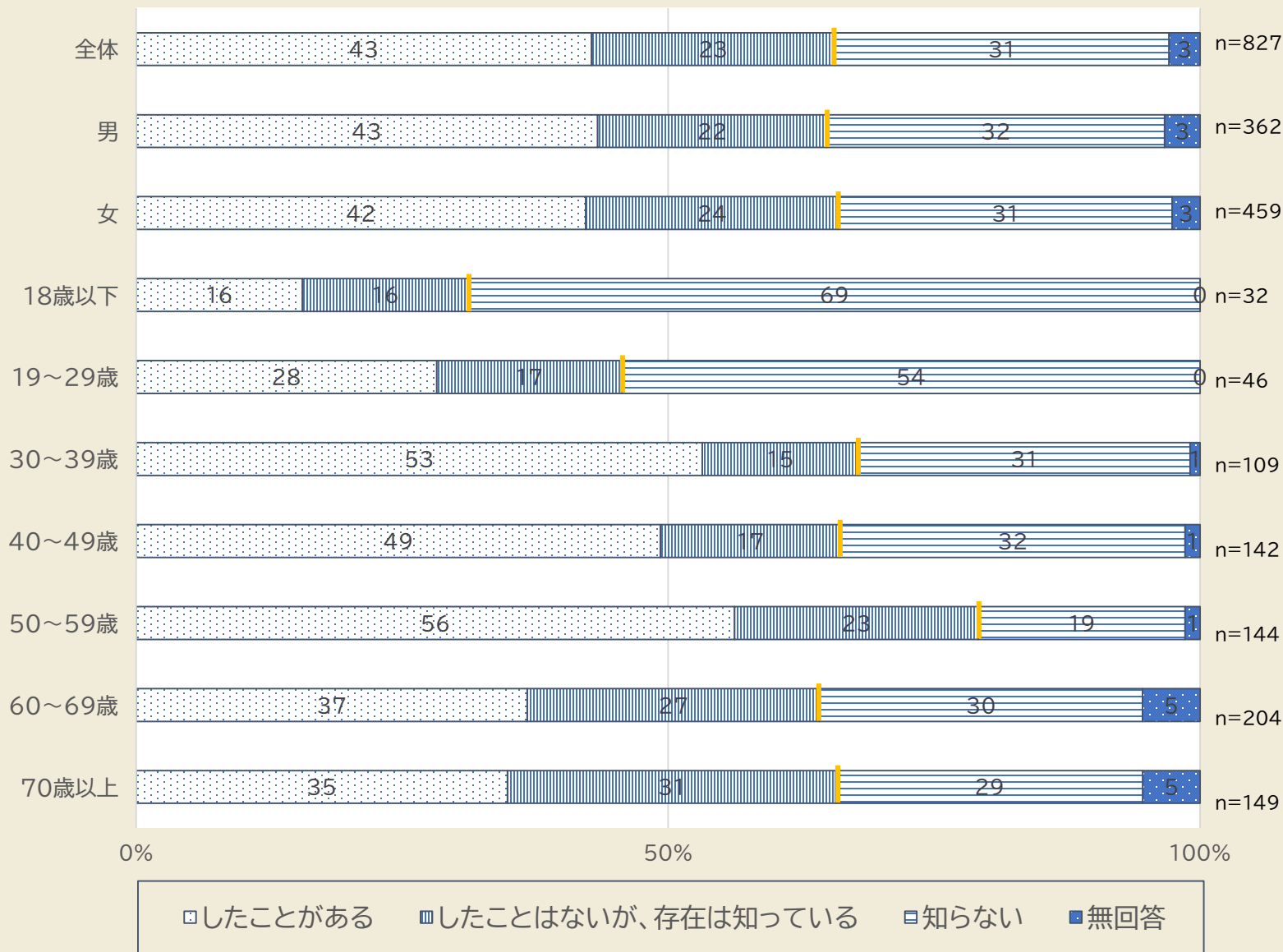
市政への参加の基本となる、市政に関する情報収集の手法として、広報紙の閲覧、認知の状況を確認する質問である。

- ・全体では、「したことがある」75%、「したことはないが、存在は知っている」11%であり、合わせて86%は広報紙のことを知っている。
- ・「知らない」と答えた人が18歳以下で69%、19～29歳で48%であり、他の年代に比べて「知らない」と答えた割合が高くなっている。
- ・40歳以上を見ると「したことがある(読んだことがある)」が80%を超えており、「したことはないが、存在は知っている」まで合わせると90%を超える。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-②市の公式SNS(LINE,Instagram,Facebookなど)をみる



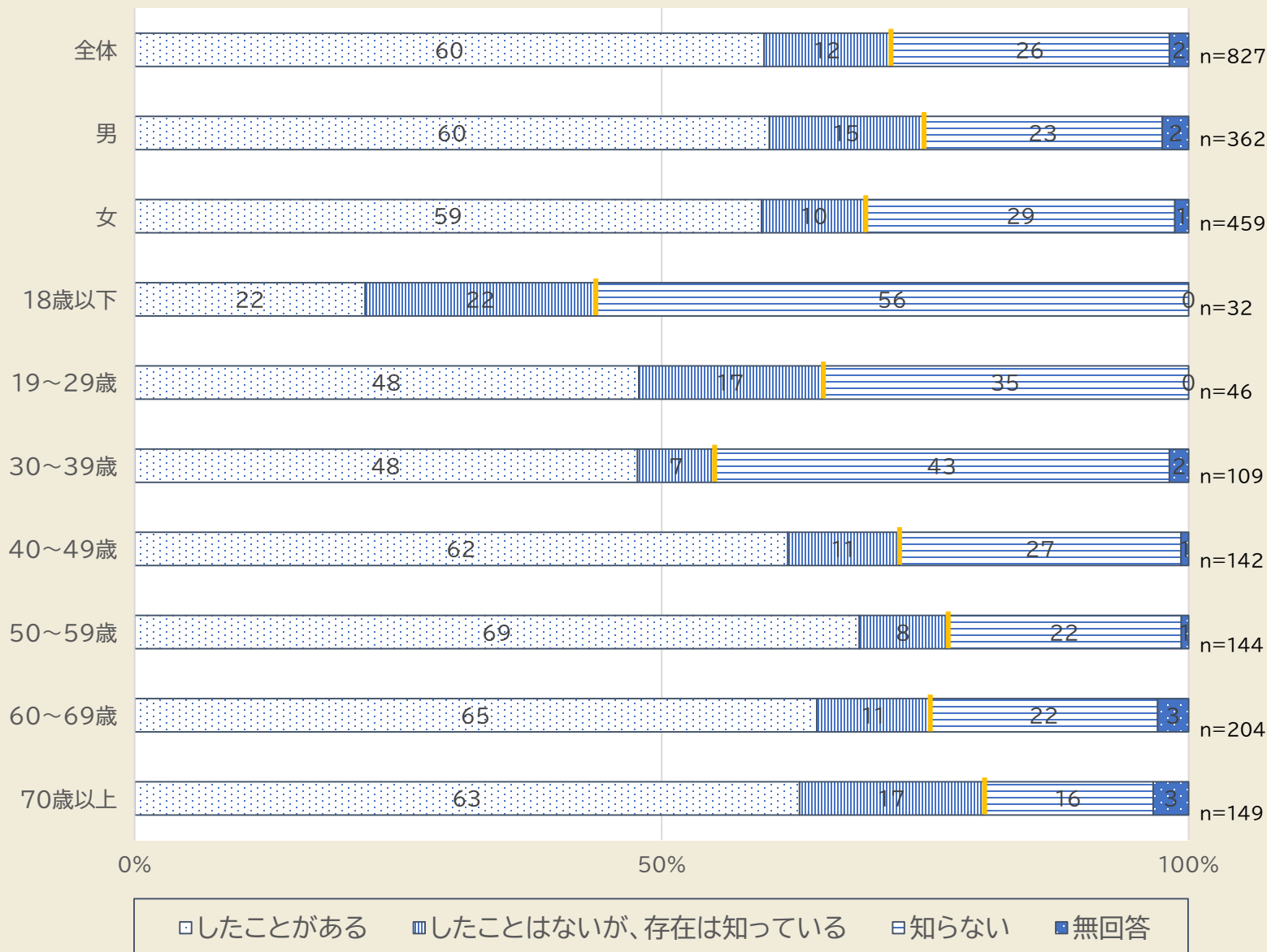
市政への参加の基本となる、市政に関する情報収集の手法として、市公式SNSの活用、認知状況を確認する質問である。

- ・全体では「したことがある」43%、「したことはないが、存在は知っている」23%であり、合わせて66%が市公式SNSのことを知っている。男女での差はほぼない。
- ・「知らない」と答えた人が、18歳以下で69%、19～29歳で54%であり、前問の広報紙を「知らない」と答えた割合とほぼ変わらない。媒体に関係なく、市の情報発信ツールの利用が低いことが分かる。
- ・「したことがある」の回答は、30～39歳で53%、40～49歳で49%、50～59歳で56%であり、30～59歳では、5割程度が市の公式SNSを活用している。また、前問の回答状況と比較すると30～59歳は、ほぼ半数以上が広報紙とSNS両方とも「したことがある」と答えている。
- ・「したことがある」の回答は、60～69歳で37%、70歳以上で35%であり、30～59歳に比べて低くなっており、「知らない」の回答は、30～49歳とほぼ変わらない。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-③市が実施するアンケート調査に答える



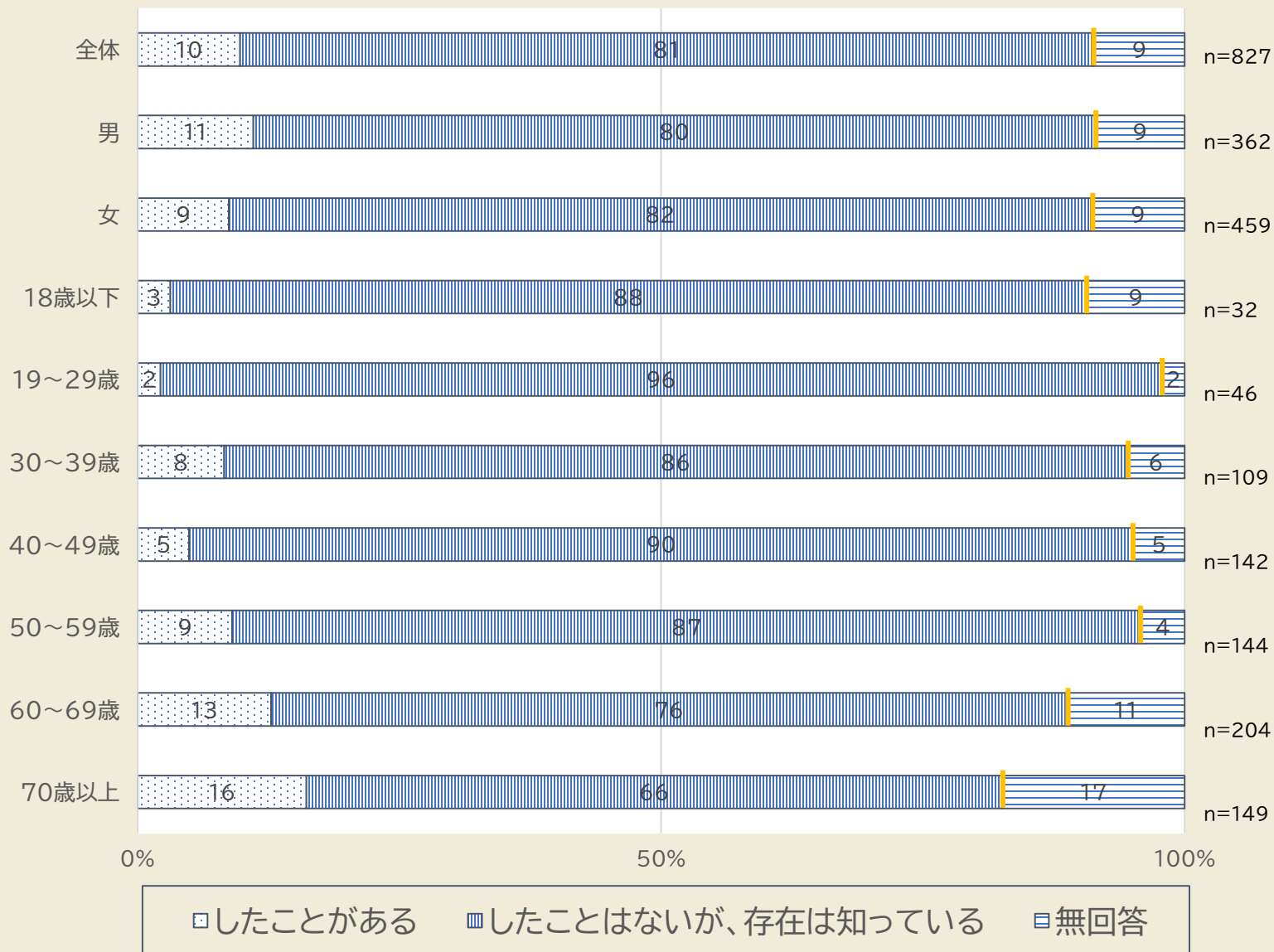
市政への参加として、アンケート等の決められた書面の形で意見を表明する行動について認識を確認している。

- ・「したことがある」は、男性60%、女性59%でほぼ変わらないが、「知らない」は、男性23%、女性29%となっており、女性の方が知らない割合がやや高い。
- ・18歳以下は、「知らない」が56%となっているが、対象となるアンケート調査が少ないことが影響していると考えられる。
- ・40歳以上の年代は、「したことがある」が60%を超えており、「したことはないが、存在は知っている」まで合わせると70%を超える。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-④市に直接メールや手紙を送る



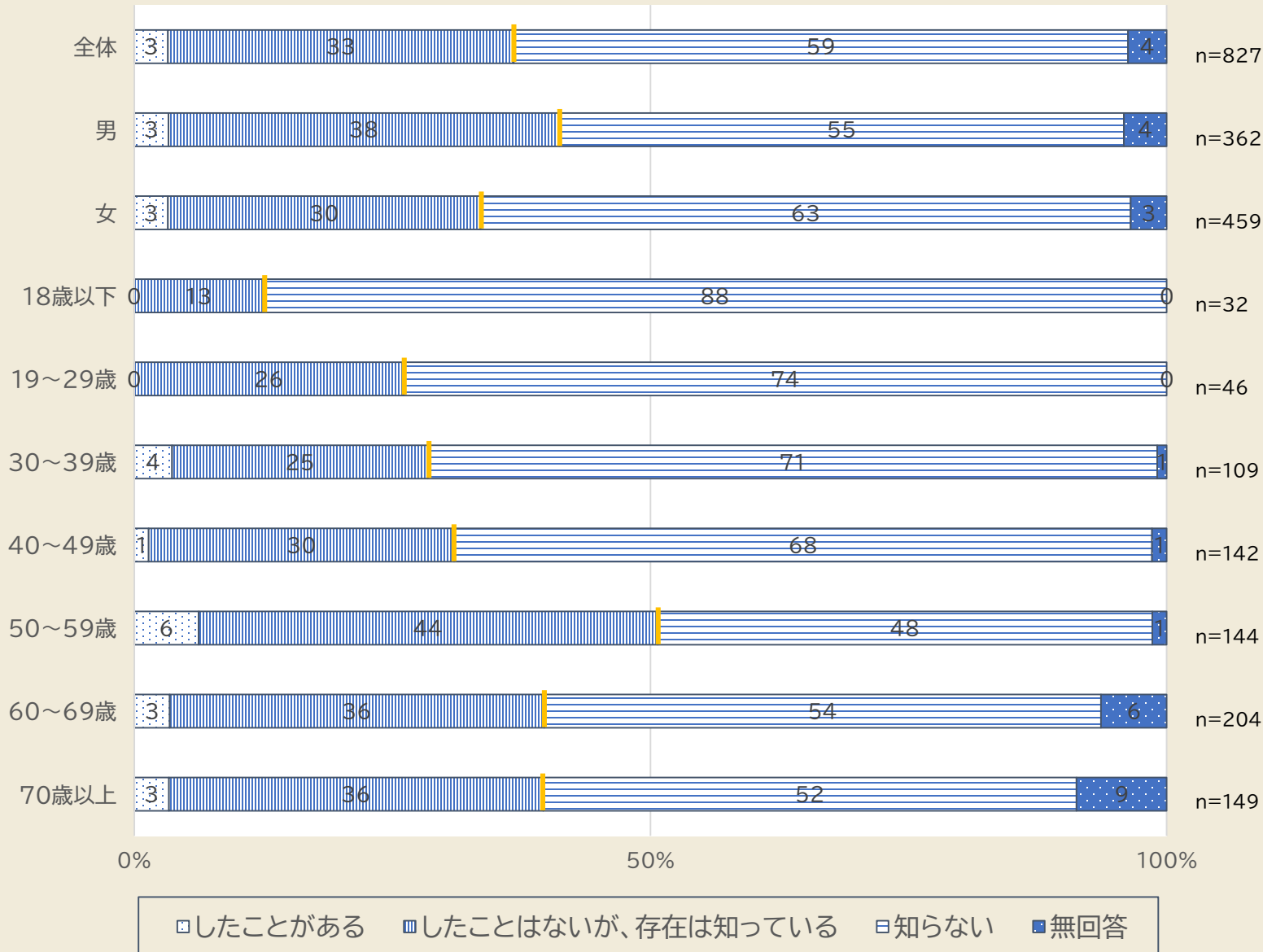
市政への参加として、市に直接書面で意見を表明する行動について認識を確認する質問である。

- ・「したことがある」は全体で10%であり、50歳以下は1割を下回っている。60～69歳で13%、70歳以上で16%となっており、年代が上がるにつれて「したことがある」の割合がやや高くなっている。
- ・全体の81%が「したことはないが、存在は知っている」と回答しており、市への意見の出し方としてあまり意識されていない。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-⑤パブリック・コメントを提出する



市民参画条例に規定する市民参画手続きの取り組み、認知の状況を確認する質問である。

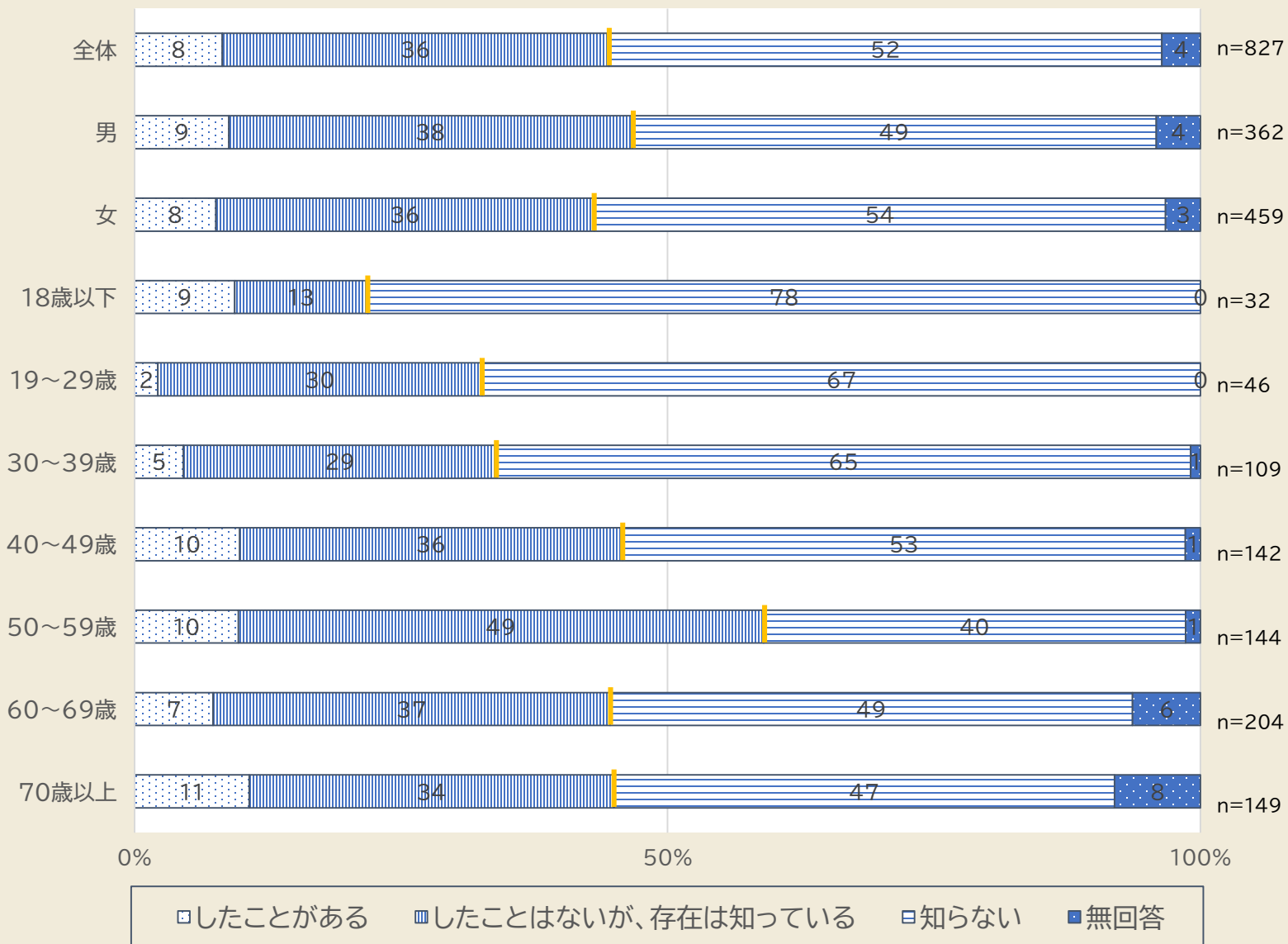
・「したことがある」は男性3%、女性3%で変わらないが、「知らない」は男性55%、女性63%と女性の方がやや高くなっている。

・広報紙や市公式SNSでパブリック・コメントの広報を行っているが、両方をよく見ている30～59歳でも「知らない」の回答が半数近い。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-⑥市主催のワークショップに参加する



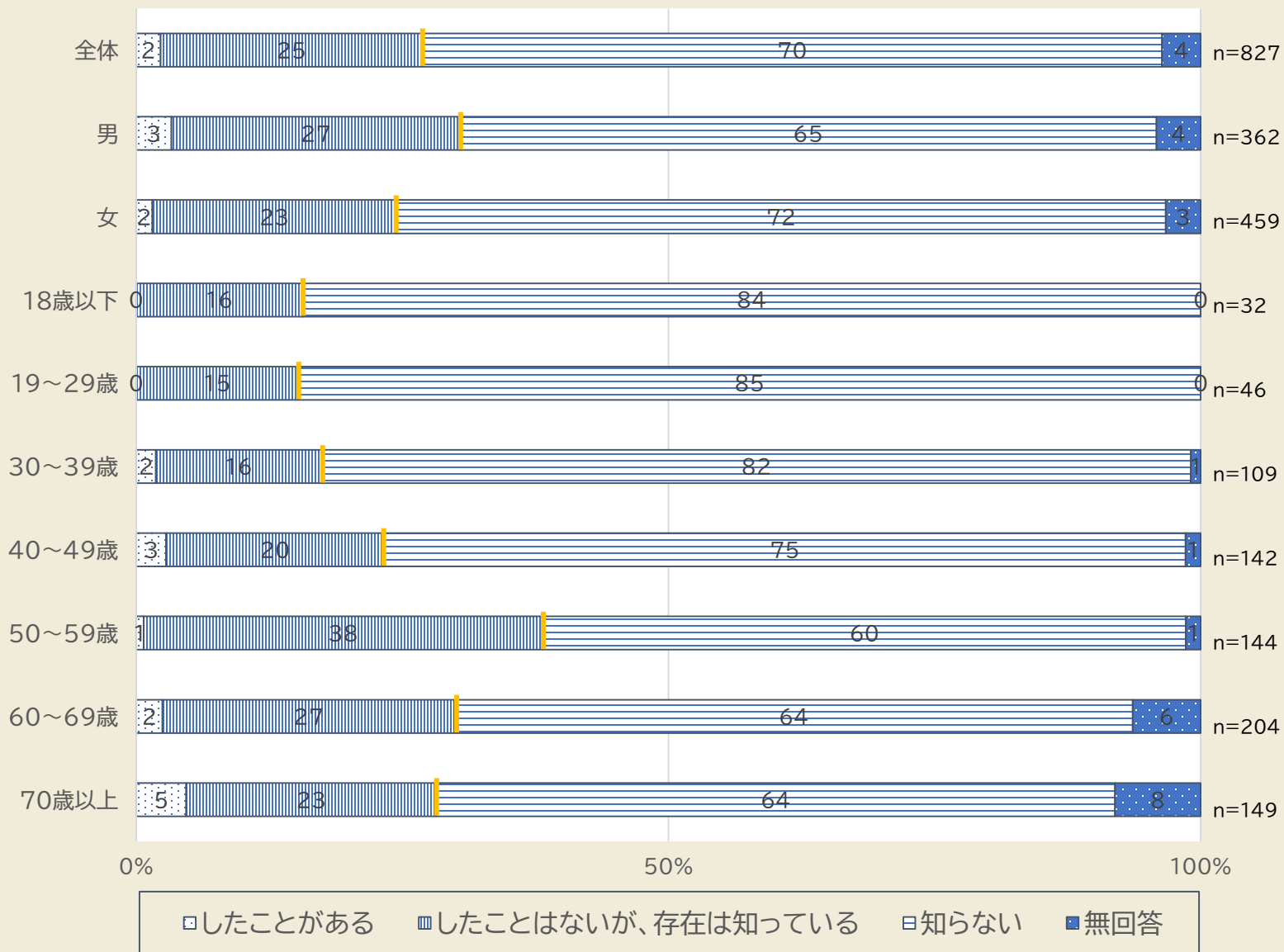
市民参画条例に規定する市民参画手続の取り組み、認知の状況を確認する質問である。

- ・全体では、「したことがある」「したことはないが、存在は知っている」合わせて44%で、一定の認知度がある。女性の方が「知らない」と答えた割合がやや高い。
- ・年代別に見ると、50～59歳のみ「したことがある」と「したことはないが、存在は知っている」と答えた割合が合わせて59%だった。

## 【4】 市政への参加について

①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているか等当てはまるものを選んでください。

### 問26-⑦市の審議会等の公募委員に応募する



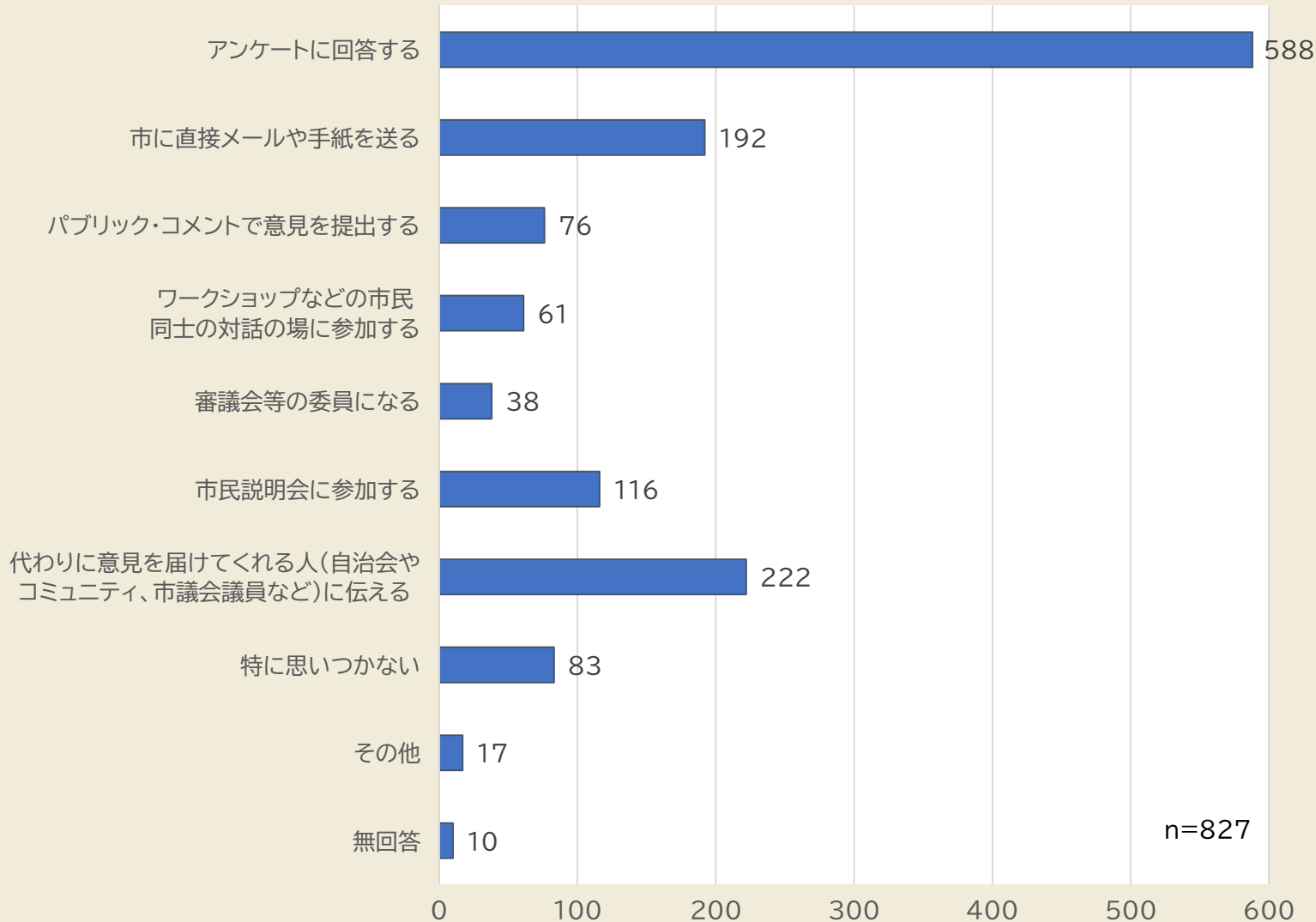
市民参画条例に規定する市民参画手続の取り組み、認知の状況を確認する質問である。

・全体では、「知らない」70%であり、男女別や年代別にみても「知らない」と答えた人が6割を超えている。

・「したことがある」は、全体2%、性別・年代別でも概ね2%前後となっており、70歳以上のみ5%。

## 【4】 市政への参加について

問27 自分の声を市に届けるため、どのような方法であれば参画できると思いますか？(○は3つまで)



問26の市民参画につながる行動はいずれも低い値になると予想し、実際に参画するのであれば、どのような手法を選択するか質問した。

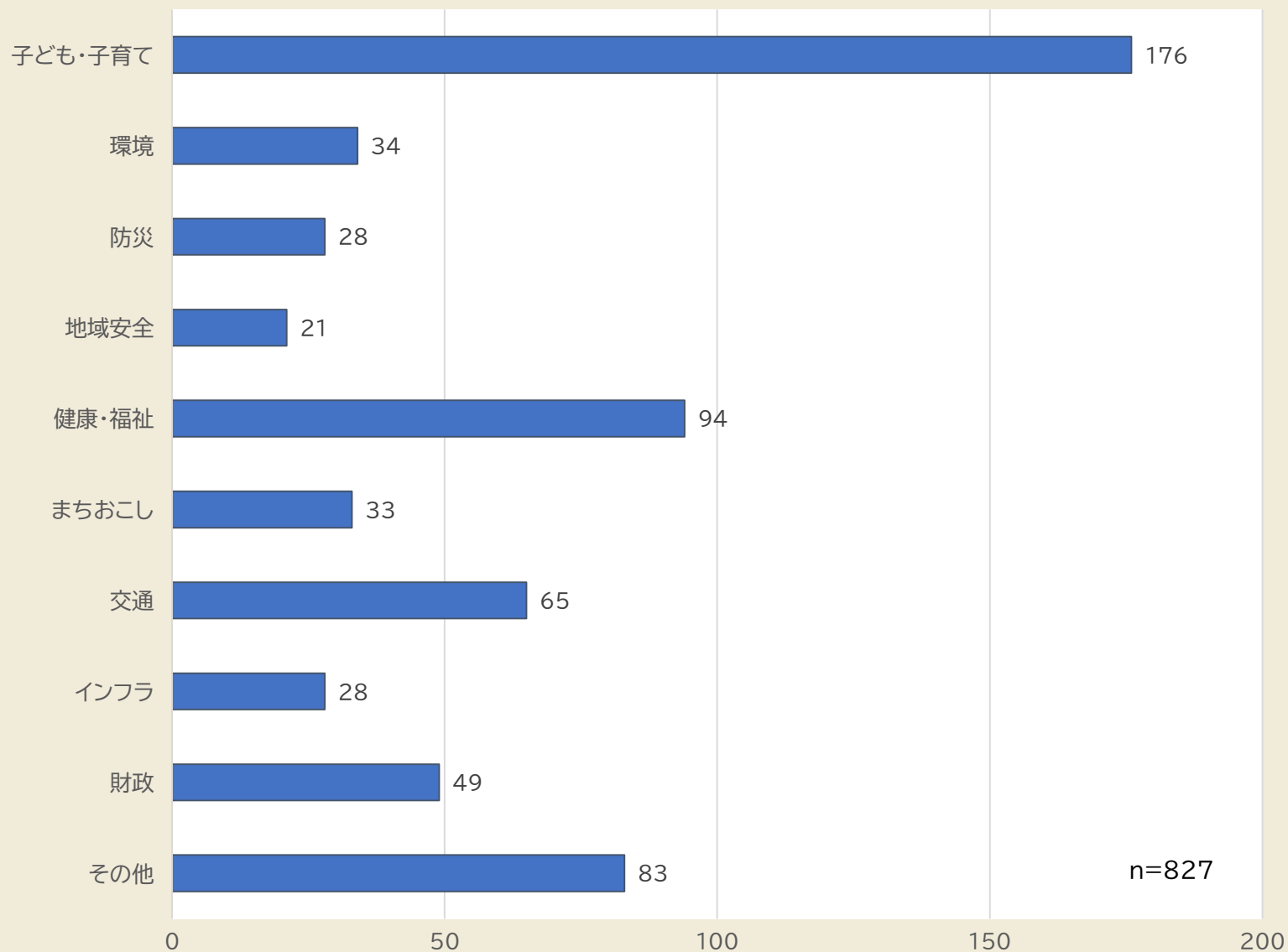
- ・全体では、「アンケートに回答」42%、「代わりに意見を届けてくれる人に伝える」16%、「市に直接メールや手紙を送る」14%が上位で、性別で大きな差はない。
- ・「アンケートに回答」は全年代で最も多く、18歳以下では過半数を占める。

市民参画条例で定める4つの手続「パブリック・コメント」「ワークショップ」「審議会等の委員」「市民説明会」を合わせた割合では、

- ・全体では20%、性別では、男性27%、女性16%で男性のほうが積極的な結果となった。これは60歳以上に男性の回答が多く、同年代は「市民説明会」を選択する割合が高かったため。
- ・年代別でも概ね2割前後で、最も低いのが30～39歳で17%、最も高いのが60～69歳で24%。
- ・「審議会等の委員」は、全体で最も割合が低く、年代別でもほとんどどの年代で最も低い割合となっている。

## 【4】 市政への参加について

問28 市政の中で関心の高いものがあれば教えてください。(自由記述)



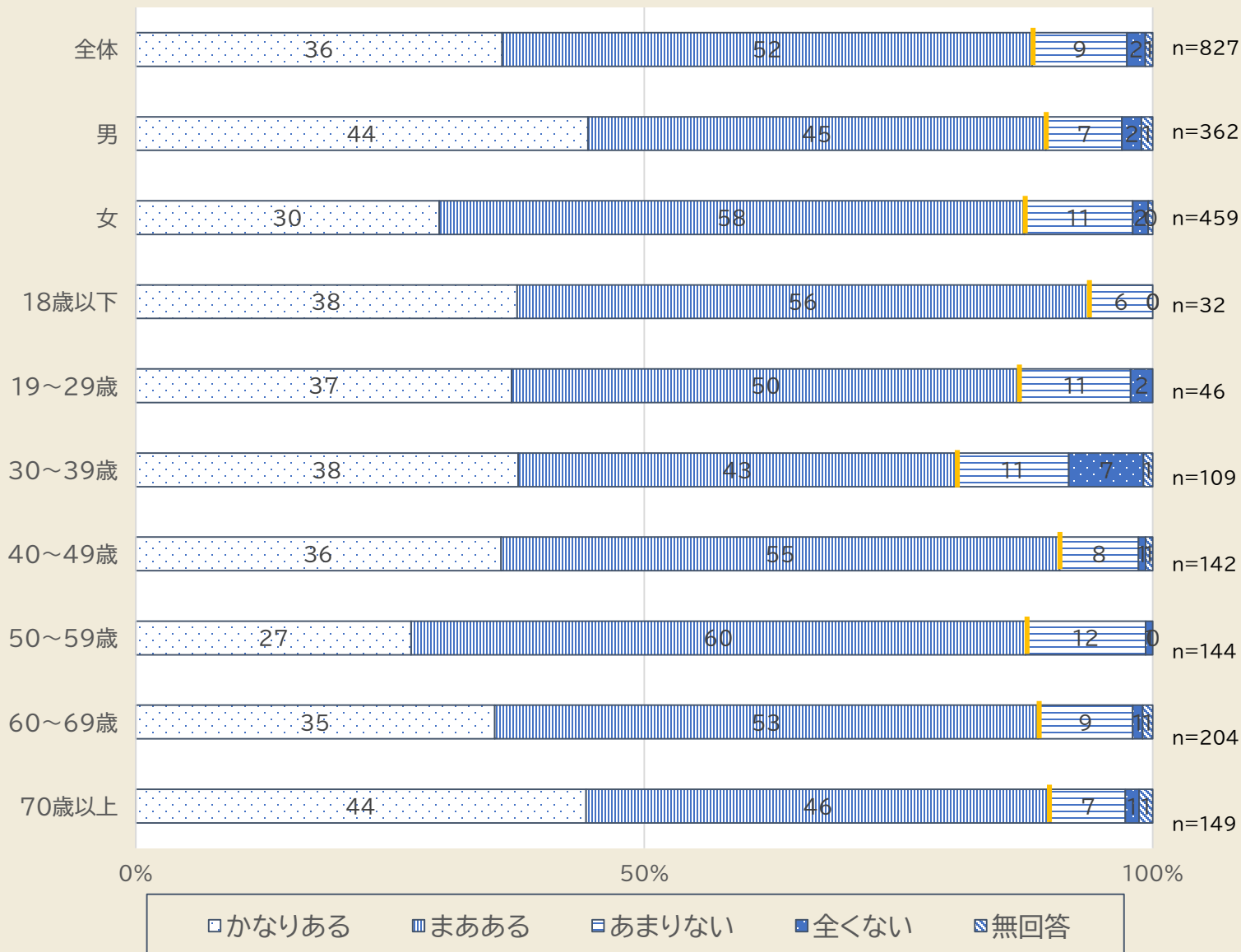
市政の中で関心の高い分野等を自由記述で回答を求めた。回答内容を踏まえて、10に分類し、集計を行った。

- ・「子ども・子育て」が最も回答数が多い。2/3が30～49歳からの回答で、50歳以上では回答数が少なくなっており、子育て当事者の関心が高いと考えられる。また、性別では女性が2/3を占めている。
- ・次いで多いのが「健康・福祉」で、40歳以上から関心が高くなっていく。具体的には、医療体制等への関心が挙げられている。
- ・「交通」は、50歳以上から関心が高くなっている。
- ・「環境」は、地域活動、市民活動の分野では関心が高い(問11、問22)が、市政への関心は高くない。
- ・「防災」「地域安全」への関心は、いずれも6割以上が男性で、18～29歳で回答は0であった。

## 【4】 市政への参加について

①～③の項目について、あなたの気持ちを選んでください。

### 問29-①宗像市や今住んでいる地域に愛着はありますか？



市政への関心や活動への参加の基礎となる市や地域への愛着に対する質問である。

愛着が「かなりある」「まあある」を合わせると、

- ・全体で88%と高く、性別での差はほとんどない。
- ・年代別では、18歳以下が87%で最も高い。40～49歳で81%と次いで高い。
- ・19～29歳が最も低いですが、68%と他の質問の傾向と比べると高い割合となっている。

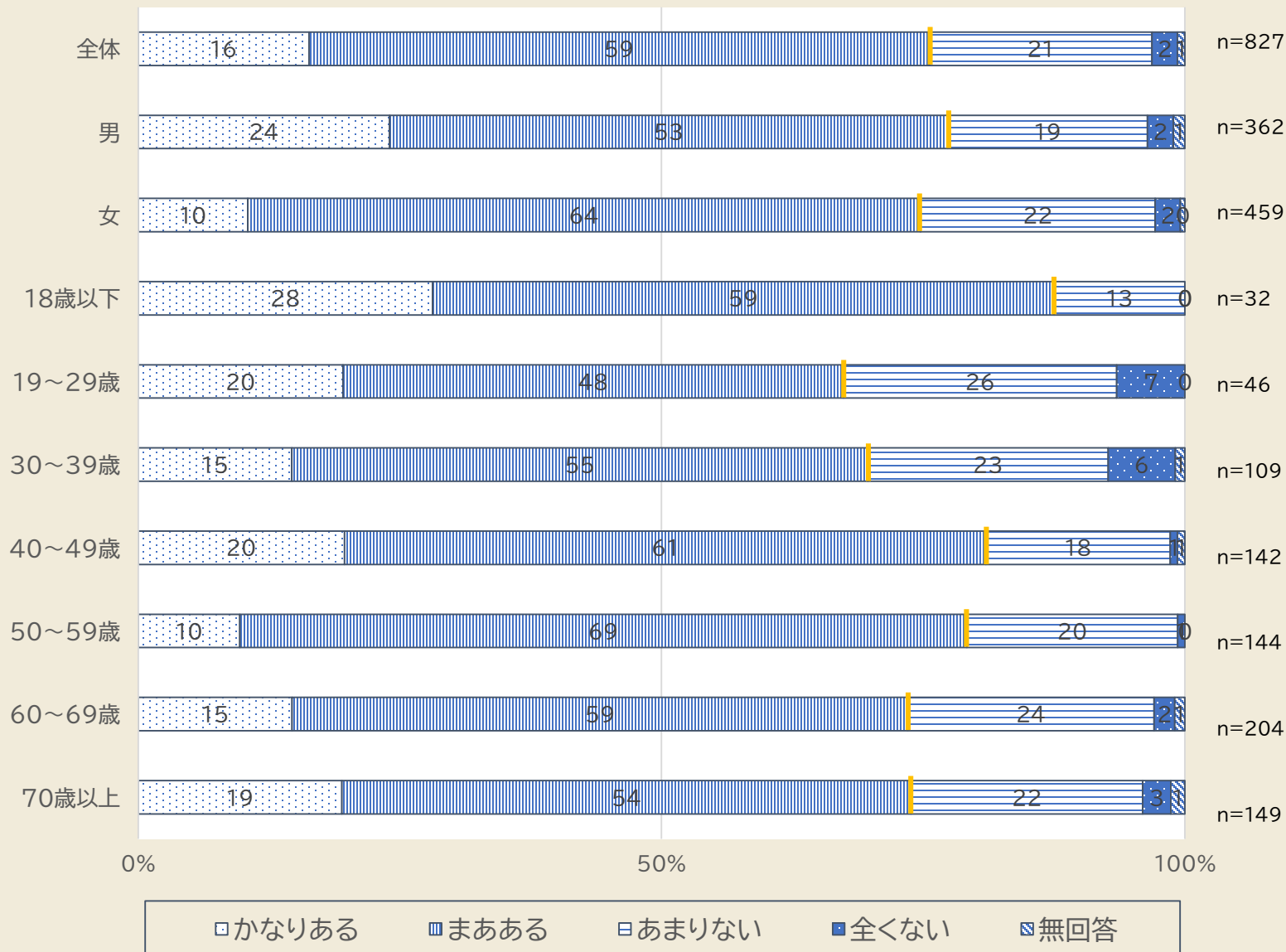
「かなりある」を見ると、

- ・性別で男性44%、女性30%で、男性のほうが愛着が強い。

## 【4】 市政への参加について

①～③の項目について、あなたの気持ちを選んでください。

### 問29-②宗像市や今住んでいる地域の役に立ちたいと思いますか？



市政への関心や活動への参加の基礎となる市や地域に貢献したいかを確認する質問である。

役に立ちたい気持ちが「かなりある」「まあある」を合わせた割合が、

- ・全体で75%と高く、性別での差はほとんどない。
- ・年代別では、18歳以下が87%と最も高い。40～49歳で81%と次いで高い。
- ・19～29歳が最も低いが、68%であり、前問と同様、他の質問の傾向と比較して高い。

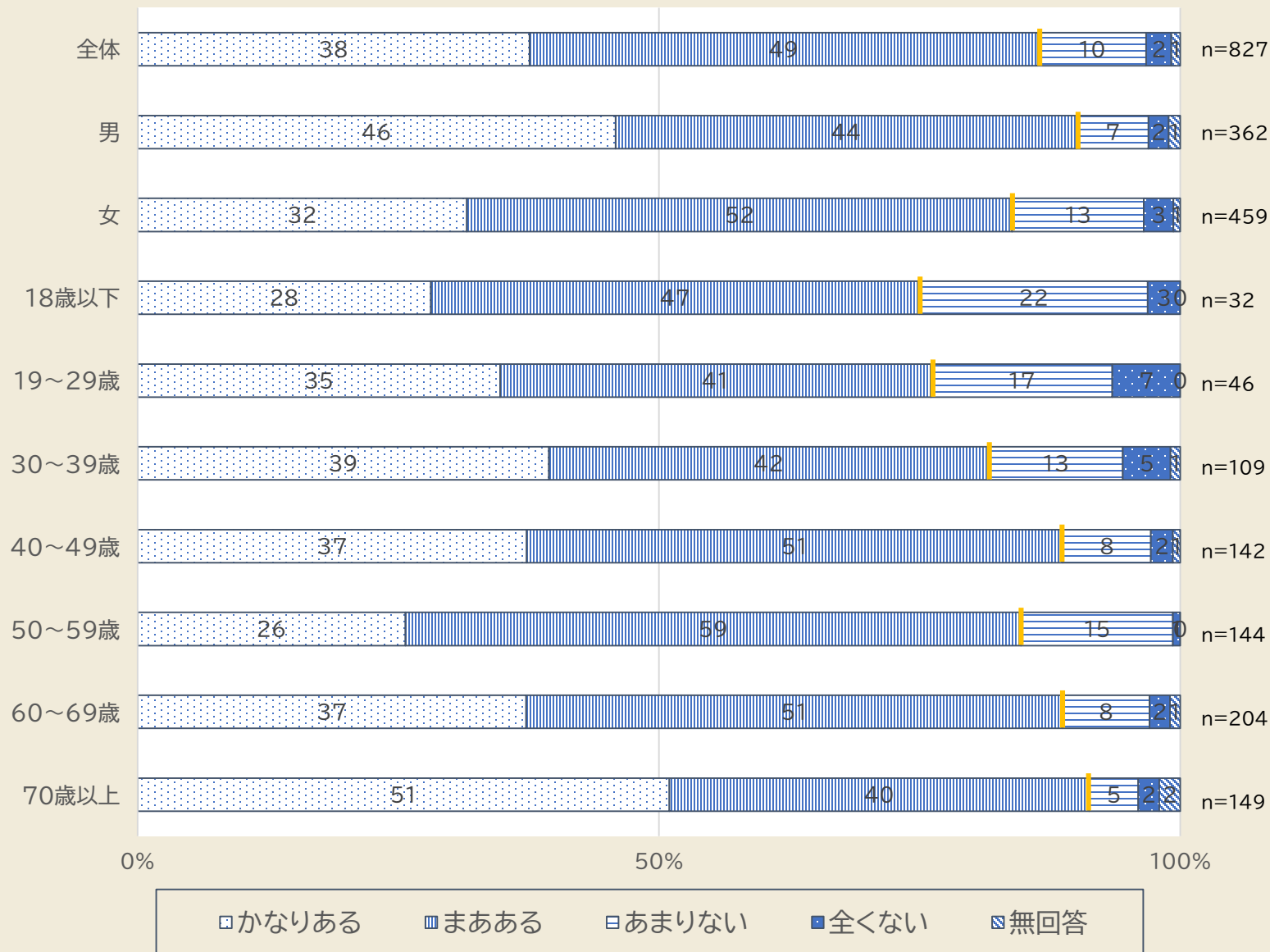
「かなりある」と回答した割合をみると、

- ・性別では、男性24%、女性10%で、男性のほうが役に立ちたいと考えている傾向が強い。
- ・年代別では、最も高いのが18歳以上の28%で、最も低いのが50～59歳で10%となっている。

## 【4】 市政への参加について

①～③の項目について、あなたの気持ちを選んでください。

### 問29-③宗像市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか？



市や地域に住み続けたいと考えているかの質問である。

住み続けたい気持ちが「かなりある」「まあある」を合わせた割合が、

- ・全体で87%と高く、性別での差は小さい。
- ・年代別では、最も低いのが18歳以下で75%。30歳以上では全世代で8割を超えている。

「かなりある」と回答した割合は、

- ・全体で38%、男性は46%で女性よりも高い。
- ・年代別では、50～59歳が26%で最も低く、70歳以上が51%で最も多い。

## 【4】 市政への参加について

### 問26～29 まとめと考察

#### 【市政への関心と参画状況】

**問26** 広報紙閲覧は全体では75%、18歳以下(19%)、20代(43%)で若年層であまり活用されていない。市公式SNSの利用は18歳以下(16%)、20代(28%)でも低調で、SNSでも若年層に届いていない。

市民参画条例に規定する市民参画手続について、いずれも活用状況は1桁、認知も4割未滿で、市民の認知度向上から取り組む必要がある。

	パブリックコメント	ワークショップ	審議会等の公募委員
知っている	33%	36%	25%
したことがある	3%	8%	2%
地域活動に取り組んでいる	(74%)	(82%)	(79%)
市民活動に取り組んでいる	(32%)	(47%)	(58%)

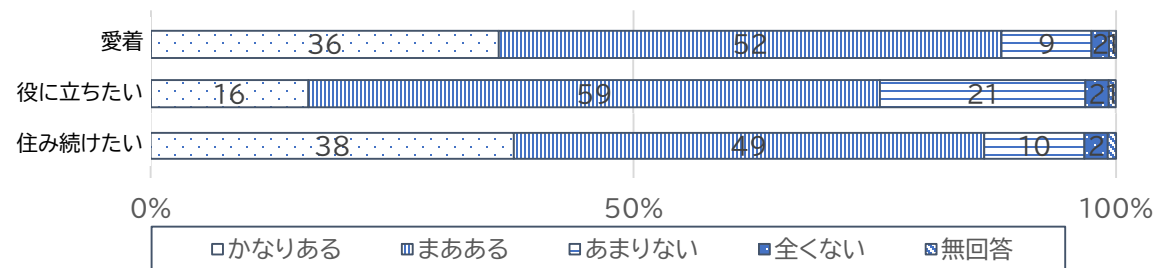
また、それぞれの参画手続に対して、「したことがある」と答えた人は、地域活動、市民活動に参加している割合が高い。活動をきっかけに市政に関心を持ったり、関わろうと考えたりする場合も多いと思われるため、活動に取り組む人向けの認知度向上も効果的と考えられる。

**問27** 自分にできる市政への参加は、「アンケートの回答」42%、「代わりに意見を届けてくれる人に伝える」16%、「メールや手紙を送る」14%が上位で、4つの参画手続を選択したのは2割程度。

**問28** 関心の高い分野は「子ども・子育て」29%で最も高く、30～40代では半数近くになっており、地域活動・市民活動の関心とも重なる。「環境」は活動分野としては身近だが、市政としての関心は低い。

#### 【まちへのシビックプライド】

**問29** 市や住む地区に対する思いとして、「愛着がある」88%、「役に立ちたい」75%、「住み続けたい」87%でいずれも高い水準である。



特に、「役に立ちたい」と答えた75%は潜在層として期待できる。地域活動の参加(問10)、市民活動の参加(問21)とかけ合わせると、いずれも未経験が25%、現在取り組んでいない層が合わせて43%で、これらの層への活動参加、きっかけづくりのアプローチが重要と言える。

問29② 「役に立ちたい」人の 地域活動・市民活動 双方の活動状況	問10・12 地域コミュニティでの活動経験		
	活動層 51%(318)	経験層 15%(97)	未経験層 34%(210)
問21 市民活動・ボ ランティア活 動の経験	活動層 26%(159)	20%(124)	2%(13)
	経験層 20%(128)	10%(61)	5%(33)
	未経験層 54%(338)	21%(133)	8%(51)
			25%(154)

# 【参考】アンケート調査票

## 宗像市 まちづくりへの参画に関する市民アンケート

日頃から宗像市のまちづくりにご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。  
 宗像市は、20年前に「市民参画、協働及びコミュニティ活動の推進に関する条例」を制定し、市民の皆様とともにまちづくりを進める「協働のまちづくり」の実現に向け、他市町村に先駆けて取り組みを進めてきました。  
 今回、より多くの方がまちづくりに参加・参画していくためのきっかけづくりを考えていくため、市民の皆様との地域での活動状況や市政への関心等をお聞きするアンケート調査を行います。  
 宗像市が、これまで以上に豊かな活力あるまちとなるよう、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和7年6月  
 宗像市長 伊豆 美沙子

### アンケートの回答にご協力をお願いします

※本アンケートは、中学生以上の市民2,000人を選んではお送りしています。(令和7年6月30日時点)  
 ※必ず宛名のご本人の意見で回答してください(代筆は可)。ご本人が回答できない場合は、破棄してください。  
 ※ご自身の意見をありのままお答えください。回答は集計・分析され、個人が特定されることはありません。  
 ※所要時間は約10分です。下のいずれかの方法で回答をお願いします。



#### 方法1：インターネットで回答

スマートフォン等から左の二次元バーコードを読み取るか、パソコンで下記のURLから回答してください。

<https://logoform.jp/f/DBn5z>

※本アンケート用紙の提出は不要です。

#### 方法2：手書き回答→郵送

本アンケート用紙(両面3枚)の質問に回答を記入し、同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。

回答期限 令和7年8月31日(日) 1.インターネット 23:59まで 2.郵送：当日消印有効

こちらがオススメ!

必要な質問のみ表示されるので回答しやすい!

お問い合わせ 宗像市 コミュニティ協働推進課 Tel：0940-36-5394

※当ではまる選択肢に○をしてください。( )内は数字や具体例等を記入してください。

※ →問 へ 等の表記がある場合には、指定の問いに移って回答してください。

### 【1】あなた自身について

問1 年齢を教えてください。 \_\_\_\_\_ 問2 性別を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

( ) 歳 (回答日時点) 男 ・ 女 ・ その他

問3 お住まいの地区を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 吉武 2 赤間 3 赤間西 4 自由ヶ丘 5 河東 6 南郷  
 7 東郷 8 日の里 9 玄海 10 池野 11 岬 12 大島  
 13 わからない(住所(番地不要)を記入： \_\_\_\_\_)

問4 主な職業を教えてください。(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 勤め人(常勤) 2 勤め人(パート、アルバイト等) 3 自営業  
 4 学生 5 家事専業 6 無職 7 その他( \_\_\_\_\_ )

問5 家族構成を教えてください。 \_\_\_\_\_

- ①あなた以外の同居家族が 1 いる( )人 2 いない  
 ②あなたを含め18歳以下の家族が 1 いる 2 いない  
 ③あなたを含め65歳以上の家族が 1 いる 2 いない

問6 現在のお住まいに住み始めて何年ですか。(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 3年以内 2 4～10年 3 11年以上

問7 現在のお住まいは、次のどれにあたりますか？(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 一軒家で持家 2 一軒家で賃貸 3 集合住宅で持家 4 集合住宅で賃貸  
 5 その他( \_\_\_\_\_ )

### 【2】地域コミュニティとの関わりについて

ご近所付き合いや、自治会(町内会、区会等)、コミュニティ運営協議会(コミュニティ・センター)で行われている地域の活動・イベントなどに関するをお聞きます。

問8 ご近所付き合いは、どの程度ありますか？(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 とてもある 2 まあある 3 あまりない 4 全くない

問9 ご近所での支え合い・助け合いは、大切だと思いますか？(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 とても大切 2 まあ大切 3 あまり大切でない 4 大切でない

問10 自治会やコミュニティの活動・イベントに参加したことがありますか？(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 この1年の間に参加した } →問11,12へ  
 2 過去に参加したがこの1年は参加していない }  
 3 参加したことはない →問15へ

問10で1,2を選んだ方のみ回答

問11 どのような活動・イベントに参加しましたか？(○はいくつでも可) \_\_\_\_\_

- 1 子ども・子育て(子ども会活動、子育てサロン、子ども110番の家、寺子屋事業など)  
 2 生涯学習(習い事、趣味サークル、歴史講座など)  
 3 環境(一斉清掃、釣川クリーン作戦、ホタルモニターなど)  
 4 防災(防災訓練、自主防災活動、地区防災計画のワークショップなど)  
 5 地域安全(通学路の見守り、青色パトロール、自転車教室など)  
 6 健康・福祉(福祉会活動、高齢者の見守り、健康運動教室など)  
 7 伝統文化(神社の行事、盆踊り、山笠など)  
 8 親睦・レクリエーション(祭り、敬老会、もちつき、グラウンドゴルフ大会、バスハイクなど)  
 9 その他( \_\_\_\_\_ )

特に行ってよかった・大切だと思った活動やイベントを具体的に教えてください

→問10で1,2を選んだ方のみ回答

問12 その活動・イベントにはどのように参加しましたか？(○はいくつでも可) \_\_\_\_\_

- 1 活動の世話役やイベントの運営に関わった(役員、実行委員など)  
 2 活動やイベントのお手伝いとして関わった(イベント当日の準備など) } →問13,14へ  
 3 全員参加型の活動に関わった(一斉清掃や釣川クリーン作戦など)  
 4 イベントの来場者として行った(まつりに遊びに行く、講演会に行くなど) } →問15へ

→問12で1,2,3を選んだ方のみ回答

問13 活動・イベントに関わった感想を教えてください。(○はいくつでも可) \_\_\_\_\_

- 1 思ったより楽しかった 2 人とのつながりができた 3 やりがいを感じた  
 4 気分転換や健康によかった 5 役に立てたと感じた 6 地域のことを知ることができた  
 7 時間的な負担が大きかった 8 責任があり負担が大きかった 9 内容が想像と違った  
 10 人間関係が難しかった 11 その他( \_\_\_\_\_ )

→問12で1,2,3を選んだ方のみ回答

問14 次回はどのように関わってもよいと思いますか？(○は1つ) \_\_\_\_\_

- 1 世話役や企画・運営に関わってもよい 2 手伝い等の募集があれば関わりたい  
 3 手伝い等をお願いされたら関わってもよい 4 手伝い等ではなくイベントの来場者として行きたい  
 5 今は参加するつもりはない 6 その他( \_\_\_\_\_ )

→問10で3または問12で4を選んだ方のみ回答

問15 どんなきっかけがあれば、活動・イベントに関わりたいと思いますか？(○はいくつでも可) \_\_\_\_\_

- 1 活動日時や場所の情報があれば 2 興味がある活動であれば 3 知人や家族に誘われれば  
 4 具体的な活動内容が分かれば 5 短時間で終わるものなら 6 単発でもできるものなら  
 7 参加賞などの特典があれば 8 その他( \_\_\_\_\_ )

## 【参考】アンケート調査票

問 16 あなたの世帯は自治会に入っていますか？(○は1つ)

- 1 加入している →問 18 へ
- 2 加入していたが退会した →問 17 へ
- 3 加入したことがない

→問 16 で 2,3 を選んだ方のみ回答

問 17 自治会に入っていない理由は何ですか？(○は3つまで)

- 1 勧誘されたことがない
- 2 活動内容がわからない
- 3 近所付き合いが面倒に感じる
- 4 近所付き合いでトラブルがあった
- 5 自治会費が高い
- 6 自治会費の使い道がわからない
- 7 加入方法がわからない
- 8 その他 ( )

問 18 お住まいの地区のコミュニティ・センターを利用していますか？(○は1つ)

- 1 月1回以上 →問 19 へ
- 2 年に数回
- 3 これまでに数回
- 4 利用したことがない →問 20 へ

→問 18 で 1,2,3 を選んだ方のみ回答

問 19 どのような目的でコミュニティ・センターを利用していますか？(○はいくつでも)

- 1 サークル活動、習い事
- 2 イベント参加
- 3 会議
- 4 図書コーナー
- 5 住民票の交付などの手続き
- 6 キッズスペース
- 7 学習スペース
- 8 その他 ( )

→問 18 で 4 を選んだ方のみ回答

問 20 コミュニティ・センターを利用していない理由は何ですか？(○は2つまで)

- 1 利用する用事がない
- 2 何ができるところなのかわからない
- 3 どこにあるのか知らない
- 4 その他 ( )

→問 21 で 1,2,3,4 を選んだ方のみ回答

問 22 取り組んだことがある・やってみたい活動分野を教えてください。(○はいくつでも)

- 子ども・子育て(子育てサークルの運営、子ども食堂、学校ボランティアなど)
- 生涯学習(学習サークルの運営、市民学習ネットワークの講師など)
- 環境(清掃活動、森林保護、保護犬・猫活動など)
- 防災(自主防災活動、災害ボランティアなど)
- 地域安全(通学路の見守り、消防団、パトランなど)
- 健康・福祉(民生・児童委員、障がいのある方のサポート(手話、点字等)、福祉施設でのボランティアなど)
- 文化・芸術・スポーツ(演奏会・展示会の企画、社会体育の指導など)
- 人権・多文化共生(男女共同参画のための啓発活動、日本語教室、通訳サポート、ホームステイの受入など)
- まちおこし(特産品開発、観光ガイド、イベント企画、魅力発信アンバサダーなど)
- その他 ( )

取り組んだことがある活動について、主なものを具体的に教えてください。

→問 21 で 1,2,3,4 を選んだ方のみ回答

問 23 取り組みたい・やってみたいと思った理由は何ですか？(○はいくつでも)

- 自分の成長につながりそう
- 人とのつながりをつくれそう
- 達成感・やりがいを感じられそう
- 知識やスキルを活かせそう
- 進学や就職に役立ちそう
- 誰かの役に立てそう
- 楽しそうだったから
- 知人や家族に誘われたから
- 自分や家族の困りごとを解決したい
- 時間の余裕ができたから
- その他 ( )

→問 21 で 1,2,4 を選んだ方のみ回答

問 24 活動に取り組んだ感想を教えてください。(○はいくつでも)

- 自分の成長を感じた
- 人とのつながりができた
- 達成感・やりがいを感じた
- 知識やスキルを活かした
- 気分転換や健康によかった
- 役に立てたと感じた
- 楽しかった
- 新しいことを学べた
- 時間的な負担が大きかった
- 内容が想像と違った
- 人間関係が難しかった
- その他 ( )

→問 21 で 3,4,5 を選んだ方のみ回答

問 25 どんなきっかけがあれば活動に取り組むと思いますか？(○はいくつでも)

- 興味のある活動であれば
- 自分の知識やスキルを活かせれば
- 知人や家族に誘われれば
- 同世代の人が多く参加していれば
- 家族と一緒に活動できれば
- 短時間・単発でも参加できれば
- 特別な知識・スキルが不要であれば
- 金銭的な負担が少なければ
- 進学・就職等につながれば
- 参加賞などの特典があれば
- その他 ( )

## 【4】市政への参加について

「市政への参加」とは、市(市長または市役所)が行政政策や取り組みについて、市民が考えたり、話し合ったり、意見を表明したりしながら、市と市民が協働で方向性を決めていくことを指し、「市民参画」とも言います。本調査では、広報紙等で市政に関する情報を知ることから、下記※のような市の条例や計画等の案の策定に参画することまで幅広くお聞きします。

- ※1 パブリック・コメント：市の条例や計画等の案を公表し、意見を書面で提出する仕組み
- ※2 ワークショップ：幅広く参加者を募り、一定の議題について市民同士で話し合う場
- ※3 審議会等：市から委嘱された専門家や市民代表が市の政策や条例・計画等について話し合う場

問 26 次の①～⑦の項目について、したことがあるまたは知っているかなど、当てはまる数字に○してください。

項目	したことがある	したことはないが存在は知っている	知らない
①市広報紙「むなかたタウンプレス」を読む	1	2	3
②市の公式 SNS(LINE、Instagram、Facebook など)を見る	1	2	3
③市が実施するアンケート調査に答える	1	2	3
④市に直接メールや手紙を送る	1	2	3
⑤パブリック・コメント <sup>※1</sup> の提出する	1	2	3
⑥市主催のワークショップ <sup>※2</sup> に参加する	1	2	3
⑦市の審議会等 <sup>※3</sup> の公募委員に応募する	1	2	3

問 27 自分の声を市に届けるため、どのような方法であれば参画できると思いますか？(○は3つまで)

- アンケートに回答する
- 市に直接メールや手紙を送る
- パブリック・コメント<sup>※1</sup>で意見を提出する
- ワークショップ<sup>※2</sup>等の市民同士の対話の場に参加する
- 審議会等<sup>※3</sup>の委員になる
- 市民説明会等に参加する
- 代わりに意見を届けてくれる人(自治会やコミュニティ、市議会議員など)に伝える
- 特に思いつかない
- その他 ( )

問 28 市政の中で関心の高いものがあれば教えてください。

問 29 次の①～③の項目について、あなたの気持ちを教えてください。(当てはまる数字に○してください)

項目	かなりある	まあある	あまりない	全くない
①宗像市や今住んでいる地域に愛着はありますか？	1	2	3	4
②宗像市や今住んでいる地域の役に立ちたいと思いますか？	1	2	3	4
③宗像市や今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか？	1	2	3	4

アンケートは以上です。最後まで記入いただきありがとうございました。  
アンケート用紙は同封の返信用封筒(切手不要)に入れて、ポストに投函してください。